

輝く未来は ここから始まる

YAMAGATA UNIVERSITY
FACULTY OF MEDICINE
DEPARTMENT OF MEDICINE

2023

山形大学 医学部
医学科ガイド

自分らしく 輝ける未来へ

YAMAGATA UNIVERSITY
FACULTY OF MEDICINE
DEPARTMENT OF NURSING

2023

山形大学 医学部
看護学科ガイド

輝く未来は ここから始まる

YAMAGATA UNIVERSITY
FACULTY OF MEDICINE
DEPARTMENT OF MEDICINE

2023

山形大学 医学部 医学科ガイド

世界にはばたく 医療人をめざして

医学、医療の道をめざすこと。
それは未来と人を見つめ、未知の領域に挑むこと。
視野は広く、心は熱く。
山形大学医学部は、人として、医療人として、
あたりまえのことがあたりまえにできる
医師と研究者を育みます。



Contents

01 建学の精神と教育目標	12 カリキュラム	28 卒後臨床研修
02 学部長あいさつ	14 1年次	30 サークル活動
03 病院長あいさつ	16 2年次	32 学生生活データ
04 山形から未来へ	18 3年次	34 入学試験データ・ 医師国家試験データ
06 世界最先端の研究と医療	20 4年次	35 医学科学生の出身高校
08 世界でもTOPレベルの 医学研究と医療提供	22 5年次	36 キャンパスマップ
10 医療のスペシャリストを 目指して	24 6年次	37 ACCESS
	26 先輩からのメッセージ	

医学部 医学科

Faculty of Medicine Department of Medicine

—最先端の医学・医療研究の実践
そして世界にはばたく医療人へ！—

[建学の精神]

人間性豊かな、考える医師の養成

医学科の教育目標

地域に根ざした国際的視野を持ち、知識や技術を自ら学び、考え、活用し、さらに発展させる能力を涵養し、生命の尊厳を理解し、高い倫理観を身につけ、多様な人生観を受け入れることができる人間性豊かな、高いコミュニケーション能力を持つ医師を育てることを目標としています。

アドミッション・ポリシー（求める学生像）

- ・生物学・医科学分野に対する広い興味を持ち、科学的研究心が強く、旺盛で持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、柔軟性に富み、倫理性の高い人
- ・協同作業を行う人々と円滑な人間関係を形成できる高いコミュニケーション能力を持つ人
- ・地域医療を含め、幅広く医療に貢献することへの志と強い使命感を持つ人



山形大学医学部

Yamagata University Faculty of Medicine



いかなる時でもしなやかに能力を発揮する医学・医療人を育む山形大学医学部

今年も昨年に引き続き例年とは異なる状況でこの案内を記させていただいています。昨年と異なり、重症となる数が少なくなっているものの本稿をお読みになる皆さんもまだ先のことが不確定であり不安を抱えておられることと思います。今回、新型コロナウイルス感染症に対応することで得られたことや思いを強くしたことなどを含めて本医学部のことについてご紹介したいと思います。

山形大学医学部は建学の精神として「人間性豊かな、考える医師の養成」を掲げ、1973年(昭和48年)に設置されました。そしてそのミッションとして「①山形大学の理念等に基づき、人間性豊かな自ら考え解決する力を持つ医師・研究者等の養成を積極的に推進する、②地域医療機関等とのネットワークを活かし、医師確保や地域医療の向上、がん医療人材養成等に向けた我が国のモデルとなるシステムを確立し、県内の地域医療を支えながら高度医療を行う医師の養成を積極的に推進する、③予防医療やオーダーメイド医療、革新的な治療法等の開発に向けたゲノムコホート研究や、臨床応用を見据えた出口戦略と一体化したがん創薬研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すと共に、次代を担う人材を育成する、④県内唯一の医育機関および特定機能病院としての取組みや地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等としての取組み等を通じて、山形県における地域医療の中核的役割を担う。」ことを挙げています。

これらの4つのミッションについては、今回の新型コロナウイルス感染症のような未経験の困難が生じたとしても私も山形大学医学部が存在している限り全く揺らぐことのない大きな使命です。そして、この困難が大きければ大きいほど、私たちのミッションの意味は大きくなります。そして、私たちはそのミッションに対して、全員がその意味を理解して共有し、誇りに思う堅固な教育機関であらうとしています。

これまで私たちがどのように取り組んできたかをご紹介します、私たちがどのような未来像を目指しているかについても述べたいと思います。

山形大学医学部は一県一医科大学構想の第一期校の一つとして1973年に創設されました。その経緯は、1968年12月13日山形県に山形大学医学部設立準備委員会が設置され、当時の山形県知事(安孫子藤吉氏)から山形大学長(廣根徳太郎先生)宛に医学部設置についての協力の文書が提出されたところから始まりました。そして1973年9月29日国立学校設置法の一部を改正する法律(1973年法律103号)の公布施行により山形大学医学部が設置されたのです。山形大学医学部の設置は山形県、山形市が山形大学に要請し、日本の医学・医療を担う若者を育む精神で一致し開校したといえます。したがって、山形大学医学部のステークホルダーは、日本国、山形県、山形市などすべての公的組織であり、そのステークホルダーである日本国民、山形県民、山形市民でもあります。この地域の方は山形県の医療を山形大学医学部に託し、逆に山形大学医学部にも地域に対して大きな責任が生じ、我々はそれに応えるための努力を続けてきたのです。

皆さんもご承知の通り、医学は常に進んでいます。問題を一つ解決しても新たな課題が現れます。生体としての人間が生きている限り何らかの課題があり続けるため、問題が「0」となることはない世界です。かつては人類にとって大きな脅威であった疾患が科学技術の進歩によって解決された例は医学の大きな成果ですが、一方考えられもしなかった次なる大きな課題が出現するのです。新型コロナウイルス感染症もその一つです。一方、人類の平均余命が50～60年であった頃には考えもしなかった認知症などの神経疾患や血管の脆弱性による疾患は現代人にとって大きな脅威となっています。またがんは有史以来常に人類にとって大きな脅威です。このような脅威に立ち向かっていく学問が「医学」であり、これは生命科学を中心とした自然科学の一分野でもあるし、工学や理学といった分野との複合領域でもあるのです。そして現在の医学はより精緻・正確な医療(precision medicine)を実践するために、新たな患者さんの遺伝子から病気の成り立ち・原因(病態)

を明らかにし、もっとも適切な治療を行うことを目指しています。山形大学医学部はこの未来医学を志向しています。最先端のがん治療としての重粒子線治療装置開発、地域に密着した最先端の分子疫学研究により疾患が発症する前に対応する先制医療の開発などで世界の医療をリードしています。

山形大学医学部が最も大切にしていることは学生教育です。教育手法は時代により変化していますが、その本質は変わりません。私たちは、建学の精神を尊重し、そこに明記された理念を実現するために多くの先進的取組みをしてきました。

その一例として挙げられるのがStudent Doctor (スチューデント・ドクター)制度です。これは、それまでの医学部教育、特に臨床実習については質・量ともに不十分な傾向があったため、臨床医学教育を臨床現場で医療チームに加わって学ぶ参加型臨床実習という当時最先端の医学教育システムをスチューデント・ドクター制度として2008年度導入したものです。このスチューデント・ドクターによる医師育成は、今では日本の全ての医科大学・医学部で行われています。また、山形大学医学部では、4年生から74週の長期に及ぶ臨床実習を実施していて、さらに2001年からは大学病院と連携しながら地域基幹病院で臨床実習期間の一部を実施するシステム(広域連携実習)をつくりました。このような臨床現場での教育は優秀な臨床医を輩出する原動力になるものです。

さらに国際レベルの医学教育に対応するため、他の大学に先駆けて2016年度に日本医学教育評価機構による外部評価を受けて、国際標準の医学教育プログラムとしての認証を受けています。これらの外部評価は、自分たちの教育プログラムが第三者の視点から適切なものであるか、ということを見ら省みる良い機会となっています。今回の認証評価の受賞にあたり、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを確認し、コンピテンシーを意識したカリキュラムマップを整備するなど現代の教育システムに対応したものを整理しました。

我々が大切にしているのは絶えず現状に満足することなく時代を先取りする教育システムを構築することで、その本質は「自ら考え解決する力を持つ医師を育成する」というミッションを実現するためのものです。

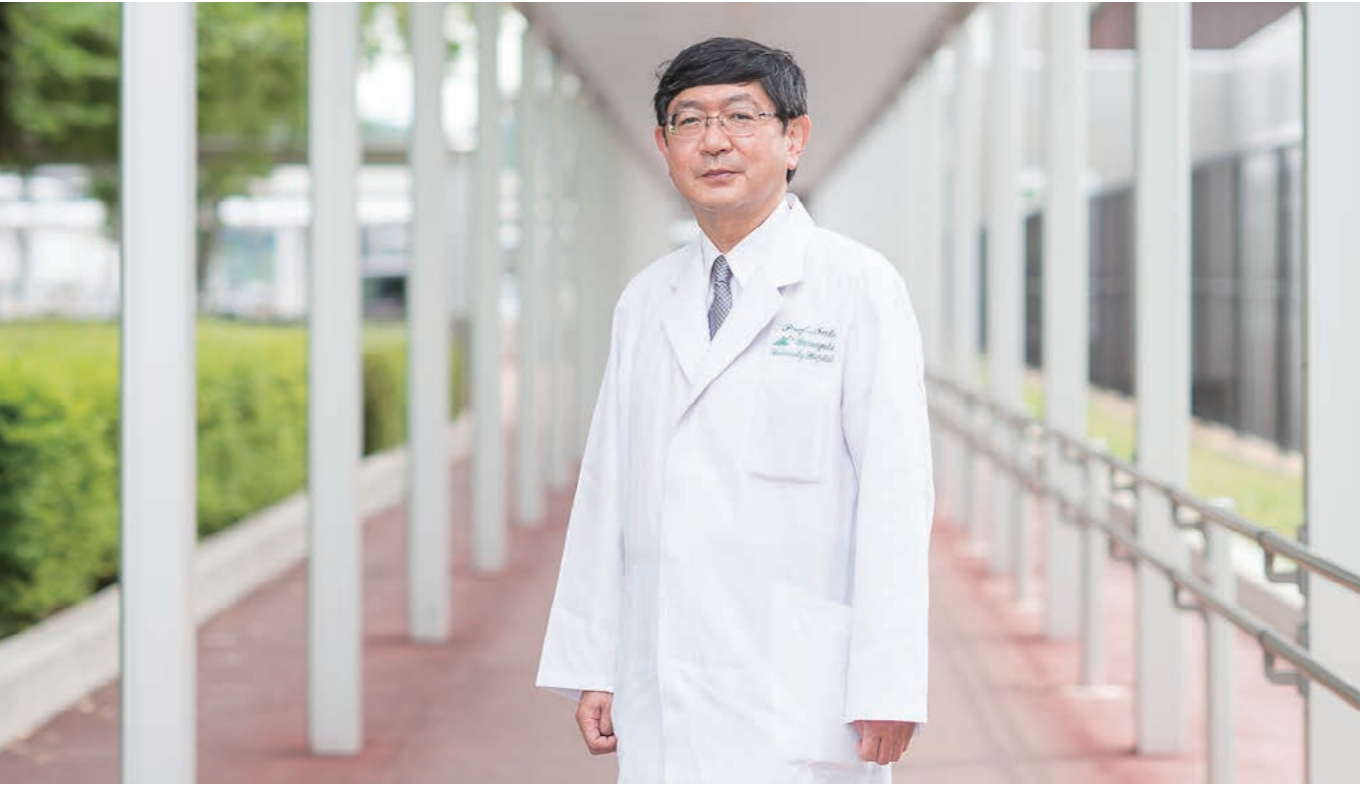
今回の新型コロナウイルス感染症の流行の状況下でも私たちは「教育」を大切に考えてきて、いち早くWebベースの講義や解剖・臨床実習の再開も実践しました。未曾有の事態というのは、これまでの医学生が受けたことのない経験をする機会でもあるのです。その点で、今回の新型コロナウイルス感染症は我々の教育の現場にデジタルトランスフォーメーション(DX)を促す大きなきっかけになっています。単に「大変だ」ということだけでなく、このような状況下で「何ができるのか」「何をしてはいけないのか」などということを見ら積極的に考えている山形大学医学部の学生諸君を、我々教職員は頼もしくまた誇りにしています。いかなる状況をも乗り越える「しなやかさ」を育むトレーニングにしてしまう、この柔軟い強さは若い世代の皆さんの特権でもあります。

もちろん医学の学習以外にも、山形大学医学部には青春の一時代を過ごすに最適な自然環境があります。豊かな四季それぞれの彩りや、雄大な蔵王山麓を背景に部活動に打ち込む学生も数多くいます。一度しかない自分の青春の日々をいかに過ごすか、自ら考え抜いていただきたいと思います。そして是非皆さんの医学に対する思い・夢をここ山形の地で叶えていただければと思います。

このような歴史・使命を持つ本学部は、来年には創立50周年を迎えます。これからの50年、100年を見据えて本学は絶えずさまざまな活動において学生・教職員・ステークホルダーと共にチャレンジをしていきます。

山形大学医学部附属病院

Yamagata University Hospital



最高レベルの教育環境を提供

本医学科ガイドは、医学を志さず皆さんに、山形大学医学部の教育・研究・診療の姿を知っていただき、医師になるためのキャリアパスを考える参考にしてもらう目的で作成されました。山形大学医学部は全国でもトップレベルの優秀なスタッフが、高度な医療を開拓、地域に提供し続けるとともに、将来、日本の医療を牽引できる若き医療人の育成を使命として日夜努力しております。ここでは、本ガイドをお読みいただく前に医学部附属病院の概要をご紹介します。

山形大学医学部附属病院は、1976年に新設医科大学、医学部の第一期校の附属病院として診療を開始し、山形県で唯一の特定機能病院です。特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた病院として国から認められた病院で、山形県の医療の最後の砦として、県内で最も進んだ医療を提供しています。附属病院の役割は、一般の病院と異なり患者さんの診療だけを行っているわけではありません。大学医学部には、教育、研究、診療という大きく3つの役割がありますが、附属病院も、その全てに密接に関わっています。

入学後、3年生までは講義や基礎医学の実習などが主なもので、附属病院との関わりは少ないですが、4年生になると病院での臨床実習が始まり、約2年間、教育の場が附属病院になります。現在、医師になるためには、この臨床実習が極めて重要視されています。附属病院で臨床実習を行うためには、知識と技能を問う2つの資格試験に合格することが求められます。試験の合格者には、Student Doctorの称号が与えられ、臨床実習が行えるようになります。このStudent Doctor制度は、現在では全国の医学部で採用されていますが、最初にこの制度を確立したのは山形大学医学部です。

続いて研究ですが、医学部で行う研究には、基礎研究と臨床研究があります。基礎研究は、培養細胞やモデル動物などをを用いて行う研究であり、医学部の附属病院とは別の施設で行われています。一方、臨床研究は附属病院で診療を受けられた患者さんにご協力いただいて行うもので、診療の結果得られる検査結果や治療効果を基に、新しい治療法の開発などを行います。この臨床研究は、附属病院無くしては行えません。一例をあげると、山形大学医学部は、近年、がんの研究を推進しており、特に、個々の患者さんのゲノム情報(遺伝子の情報)に基づいた治療法の開発に注力しています。2019年、がんゲノム医療を行う全国34のがんゲノム医療拠点病院の一つに指定されました。がん

ゲノム医療とは、患者さんのがんの遺伝子異常を調べ、そのがんに有効な最適な治療法を選択して治療を行う個別化医療です。さらに当院では、がん以外の疾患も対象としてゲノム情報を集積する山形バイオバンクを立ち上げ、ゲノム情報をフルに使った医療の研究開発を推進しています。

診療については、先にも述べましたが、当院は、県内唯一の特定機能病院、山形県の医療の最後の砦として、県内で最も進んだ医療機器を導入し先進医療を提供しています。特に2021年2月に稼働した重粒子線がん治療装置は、山形大学医学部が装置の設計段階から関与し、高レベルの省エネルギー・省スペースを達成した世界最先端の装置です。省スペースを達成できたことで、従来は病院から離れた土地に建設する必要があった治療センターを病院に接続する形で建設することができ、合併症等により移動に難渋する患者さんの治療が行えるのも大きな特徴です。今後、北海道・東北だけでなく、日本の中核的な重粒子治療センターとして期待されています。

その他の最先端医療の一部も紹介しますと、1)術中MRI：MRIは磁石の力を使い臓器を画像化し診断を行うものですが、この装置を手術室内に設置して手術中に腫瘍の取れ方などを確認しながら確実な手術を行うことが可能になっています。2)ハイブリッド手術室：従来、血管撮影やカテーテル治療は放射線部内の血管撮影室で行われていましたが、血管撮影やカテーテルの治療と一般の手術を同じ場所で行い、患者さんの負担軽減と万一の場合の対応を速やかに行うことが可能となりました。3)手術支援ロボット「ダヴィンチ」：手術支援ロボットを用いて手術を行うことで、従来の内視鏡手術よりも細密な手技が可能となり、手術時間の短縮や出血量の減少など患者さんに負担の少ない安全な治療を提供しています。4)最先端のリハビリテーション機器：2019年度から、当院は「入院した時より元気になって退院できる“元氣増進退院”」を目指し、AIやロボティクス、バーチャルリアティーを活用した最先端のリハビリテーション機器を導入して、急性期からの積極的なりハビリテーションを全国の大学病院に先駆けて、推進しています。

山形大学医学部附属病院のスタッフは学生や若手医療人の教育にも熱心に取り組んでいます。高度な診療水準は、取りも直さず優れた教育環境の提供に直結しています。全国から医師を目指す多くの皆さんが、ここ山形の地で研鑽を積み、活躍されることを願っています。

[固定照射室]



山形大学医学部の視点 1

山形から未来へ

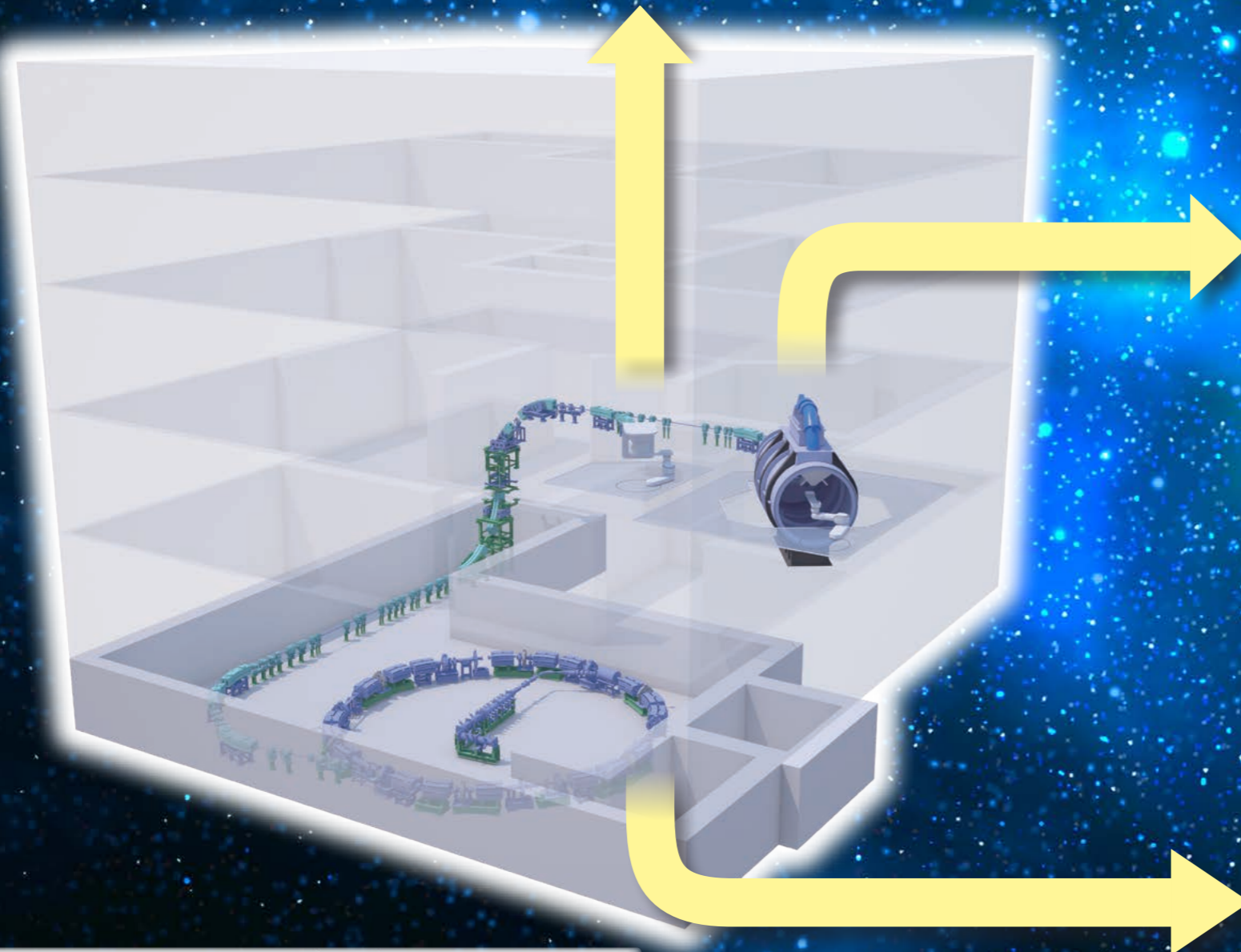
山形大学医学部では、最先端のがん治療法である「重粒子線がん治療」施設として、山形大学医学部東日本重粒子センターを開設し、令和3年に治療を開始しました。本学医学部で学ぶ学生たちは、最前線のがん治療の現場に刺激を受けながら、医師になるための修練に日々励むことになります。

※ P8「医学部がんセンターと重粒子線がん治療の教育・研究」もご覧ください。



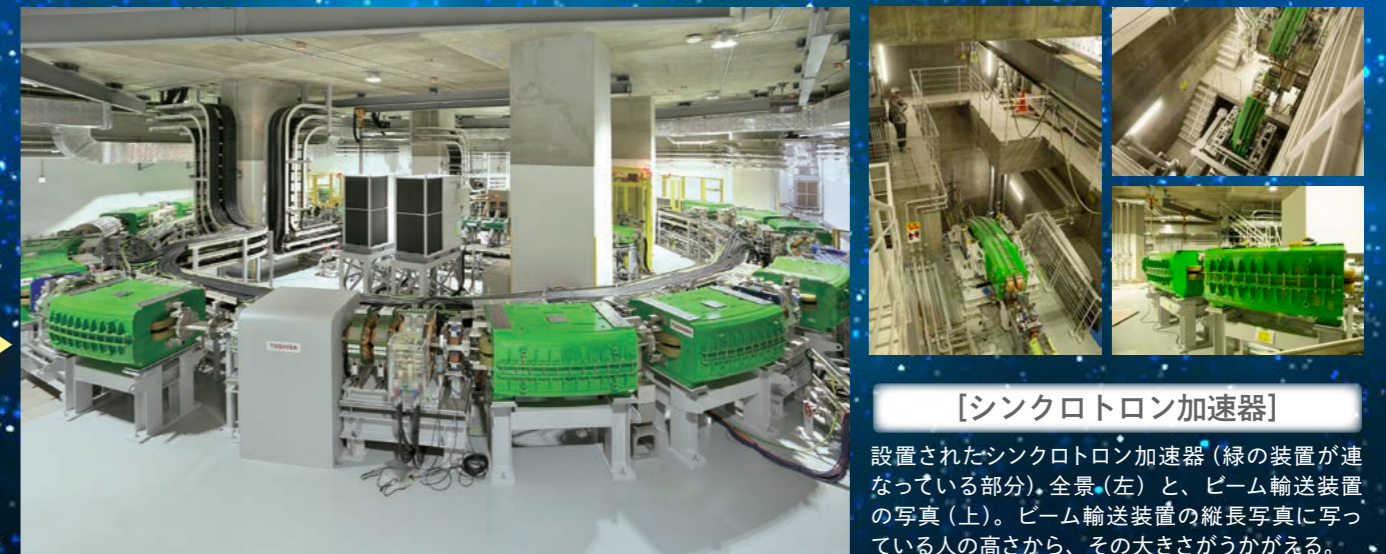
[超伝導ガントリを使用した照射室]

中央の患者に対し、上部のラップ部が360度回転し任意の位置から照射可能。



[山形大学医学部 東日本重粒子センター内の機器レイアウト]

下方の円形な装置がシンクロトロン加速器。炭素の原子核を光速近くまで加速させた「炭素イオン線」を用いて、体の外から“がん腫瘍”を狙い撃ちする。



[シンクロトロン加速器]

設置されたシンクロトロン加速器（緑の装置が連なっている部分）。全景（左）と、ビーム輸送装置の写真（上）。ビーム輸送装置の縦長写真に写っている人の高さから、その大きさがうかがえる。



山形大学医学部の視点 2

世界最先端の 研究と医療

最新のオペレーションシスターなど、山形大学医学部はより安全で快適な治療法を追求するとともに、がん治療における世界最先端の研究なども行っています。

世界でもTOPレベルの医学研究と医療提供

医学部がんセンターと重粒子線がん治療の教育・研究

近年の「がん」医療では、治療後の患者さんのQOL(“quality of life”=生活の質)が重視されており、患者さんが持つ生活の価値観に合致するように「手術」「化学療法」「放射線治療」をうまく組み合わせながら治療方針が決定されています。このうち放射線治療は、ここ10数年ほどの間に治療装置の機能・性能が飛躍的に拡大し、「がん」の種類によっては放射線治療だけで手術と同等の効果が得られています。

山形大学医学部で稼働中の「山形大学医学部 東日本重粒子センター」(図1)は日本の優れた「がん医療」と「科学技術」の融合により世界に先駆けて実用化された日本発の重粒子線がん治療施設です。従来利用されてきた電磁波の一種であるX線ではなく、炭素の原子核を光速近くまで加速させた「炭素イオン線」を用いて、体の外から「がん腫瘍」を狙い撃ちします。重粒子線の利点は治療効果(電離作用)をもたらす範囲を「がん」腫瘍の位置、形状に合わせて照射可能で、正常組織への影響を抑えながら「がん」腫瘍に線量を集中させることです。また、従来の放射線では効果が弱かった放射線抵抗性の「がん」に対しても良好な成績が得られています。既に、前立腺がんや膵臓がんなど9種類のがん治療が公的保険の適用となっており、今後も拡大が予想されます。

「山形大学医学部 東日本重粒子センター」は大学附設の施設としては群馬大学に次いで国内2施設目であり、日々の臨床だけでなく教育と研究の拠点たらんことを期待されています。医学部の学生は

4年～5年次に実習の一環としてセンターでの治療の様子を見学するカリキュラムが組まれており、最先端治療の現場を肌で感じることが出来ます。ビームの角度を自由に換えられる回転ガントリーや、細いビームを走査して照射を行うスキャンング照射装置を持つ大学は本学だけであり、これらを駆使して新しい治療法を開拓していくのに最適な環境が揃っています。



(図1) 山形大学医学部東日本重粒子センター

山形バイオバンク

多くの協力のもと、オーダーメイド医療の実現を目指して

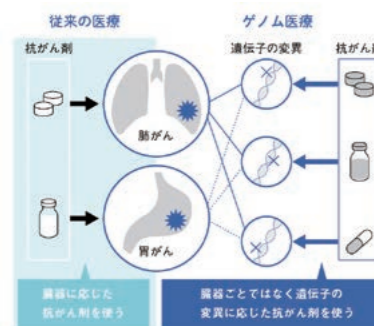
「ゲノムとは何か」。人間の体は細胞でできています。その細胞の核にあるDNA(デオキシリボ核酸)の一部分で、細胞を構成する一個一個の物質の作り方を決めている暗号の部分を遺伝子といいます。「ゲノム」は、そういった遺伝子全部を含むDNA全体、細胞そのものの設計図のことを指します。

遺伝子の並び方に変化が起こるとがんができてしまいます。その原因を解析し治療に役立てようとする「ゲノム医療」が世界で注目を集めており、山形大学医学部では、既に平成30年6月から「山形バイオバンク」の運用を開始し、同意を得た患者から血液などの生体試料を採取、蓄積しています。それらの生体試料から、細胞の設計図であるゲノムの「暗号」を解読し、今まで分からなかった遺伝子

の変化を見つけることで、一人ひとり違う「変化した遺伝子とその働き」を発見し、その働きを元に戻すような薬を作ることができれば、一人ひとりにあった「オーダーメイド医療」の実現も夢ではありません。

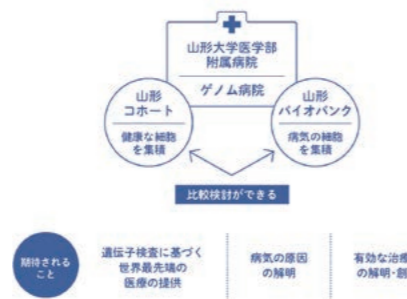
また、本学医学部では、病気発症の遺伝的要素と生活習慣の関係性を解明することを目的とした「山形県コホート研究」を実施しており、既に2万人の健康時データを保有しています。それに対して、「山形バイオバンク」では来院者(病気を発症している人)のデータを保有しています。その両方のデータがあることは大きな強みであり、それらを比較し、解析することで、様々な治療法の研究・開発が進むことが期待されます。

従来の医療とゲノム医療のちがい



病気の発生や進行、症状、治療効果、副作用などは患者一人ひとり異なるが、従来の医療では標準的な治療を行いながら個々に合った治療法を模索していくしかない。度重なる検査や治療薬による副作用などで心身両面での消耗が激しい。しかし、これがゲノム医療によってオーダーメイド医療が実現すれば、当初から個々に最適な治療を選択できるため、身体的にも経済的にもメリットは大きい。

山形バイオバンクがオンリーワンの理由



「山形バイオバンク」の強みは、歴史あるコホートの存在。健康な県民から遺伝子情報をはじめ様々な情報を預かり、研究に役立てることができる環境が整っている。健康な人の細胞と、病気の細胞を比較することで感受性遺伝子、つまり、がんになりやすい遺伝子を見つけることができる。

世界最高水準の手術治療を可能とする

オペレーション・シアター

附属病院の手術室は、平成20年7月より新病棟3階に「最新のオペレーション・シアター」として生まれ変わりました。ここには、日本で3台目となる高磁場術中MRI診断装置をはじめとして、最新鋭の手術器械を取り揃えた12のシアターがあります。手術用ロボッ

ト(ダヴィンチ)を使った最先端手術やナビゲーションサージェリーに加え、平成27年9月からは、ハイブリッド手術室が稼働し、各分野のエキスパートが最高水準の手術治療を提供しています。



ハイブリッド手術室



術中MRI



ロボット手術

より安全・確実で、より低侵襲な手術を目指す

先端内視鏡手術センター

内視鏡手術には、標準的な手術から高度な専門性が必要な技術まで、求められる手術技能に幅があります。先端内視鏡手術センターでは、手術に係る諸条件の設定を行い、手術成績についても客観的な評価を行うことで、より安全で確実な手術を可能としていきます。

また、若手医師・研修医・学生の教育システムを確立し、様々な手術技のトレーニング等を行い技術の習得・向上をサポートするとともに、最新の医工学技術を駆使した手術の開発を行い、より患者さんにも術者にも優しい手術を目指します。



安全で高度な先端内視鏡治療



シミュレーターによるトレーニング

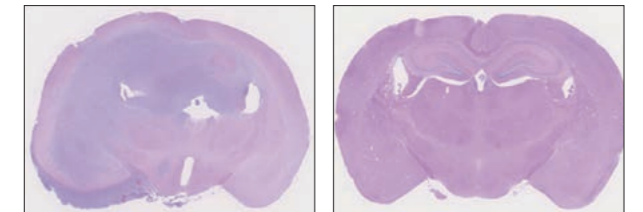


セミナー開催により情報共有

がんの「治癒」を目指す最先端がん研究

山形大学医学部はがん治療だけでなく、がん研究でも他の追随を許さないオリジナルな研究を展開しています。その一例として、近年私たちは糖尿病薬に悪性脳腫瘍の再発予防効果があることを世界に先駆けて発見しました。意外かも知れませんが、実はがんに含まれるがん細胞のうち「大部分」は抗がん剤や放射線に弱く再発の原因にならないがん細胞です。一方、再発のもととなるがん細胞は「がん幹細胞」と呼ばれる特殊ながん細胞です。がん細胞のうちごく少数ですが治療に対して著しく抵抗性で、通常のがん治療により他の大部分のがん細胞が死滅した後も生き残り、再発の原因となります。今までのがん治療は一見効いてがんが消えたように見えても再発がおきてしまうため根治が不可能でしたが、最近になってがん幹細胞の存在がその原因であることがわかってきました。これはすなわち、がん根治療法開発にはがん幹細胞治療法開発が必要であることを意味しています。そこで私たちはまずがん幹細胞ががん幹細胞であり続けるための仕組みを分子レベルで解明し、続けるその仕組みを働かなくするための薬を探しました。その結果、全く予想外なことに、

糖尿病の薬メトホルミンにがん幹細胞治療効果があることを発見しました。面白いことに通常のがん細胞にはメトホルミンはほとんど効かないため、今まで誰にも気づかれなかったようです。メトホルミンは脳腫瘍のみならず様々ながんのがん幹細胞に有効であることが明らかになりつつあります。近未来は糖尿病薬を応用することで再発を予防し、山形発のがん根治療法が実現できるかも知れません。



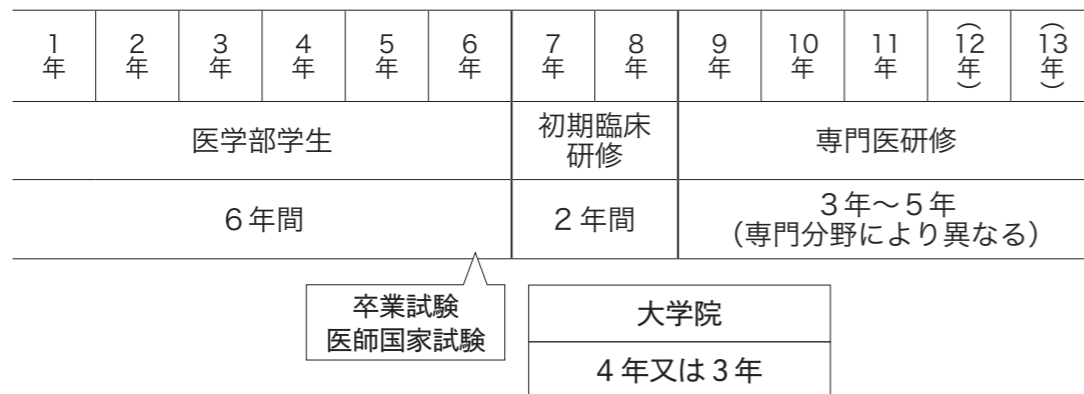
再発実験結果(マウス脳断面)：糖尿病薬の治療を受けていない脳腫瘍(左)は大きな再発腫瘍(脳左半分には広がる薄紫色の範囲)を形成したが、治療を受けた脳腫瘍(右)は全く再発腫瘍が見られなかった。

医療のスペシャリストを目指して

～医師になるためのキャリアパス～

晴れて医学部に入学すると、いよいよ医師への道がスタートします。最初の目標は卒業と医師国家試験の合格ですが、その後も研鑽は続きます。

山形大学では、卒業臨床研修センターや大学院医学系研究科を設置し、皆さんが医療のスペシャリストになる道をサポートします。



初期臨床研修とは～一人前の医師になるために～

国家試験に合格し、医師免許の交付を受けても、まだ一人前の医師とはいえません。診療に従事するためには、2年以上、大学病院などで「初期臨床研修」を受けなければならないからです。この研修では、様々な診療科で指導医のもと診療行為を行い、研鑽を積みみます。
※詳しくは、P28卒業臨床研修のページをご覧ください。

初期臨床研修を終えると・・・

初期臨床研修を終えれば、一人前の医師として制度上認められ、医師としての本格的な活躍がスタートします。

しかし、飛躍的な進歩が続く医療の現場で活躍していくためには、更なる研鑽の機会を求め、専門医研修や大学院での修学、また、専門医の取得など常に最新の技術・情報等を得ることがとても重要です。

専門医研修とは～専門医の取得～

現在、初期臨床研修を終えた後、ほとんどの人は引き続き専門医研修を受けています。専門医研修では、高いレベルの専門知識と医療技術を学んでいくとともに、より責任のある診療行為を担当するようになります。

また、専門医研修では、各分野の学会が定めた所定のプログラムを修了することで、当該分野の「専門医」に認定されます。

専門医とは、日本専門医機構が各基本領域学会と協力して認定する資格で、それぞれの診療領域における適切な教育を受けて、十分な知識・経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できるとともに、先端的な医療を理解し情報を提供できる医師のことを言います。

山形大学医学部附属病院で受けられる専門医研修プログラム

山形大学では、各診療科が専門医に要求される研修内容に対応して緻密に組まれた独自の専門医養成プログラムを提供しています。

山形大学医学部附属病院 内科専門医研修プログラム

山形大学医学部附属病院 小児科研修医（専攻医）研修プログラム

山形大学医学部 皮膚科研修プログラム

精神科領域専門医研修プログラム

山形大学 外科専門医研修プログラム

山形大学 整形外科専門医研修プログラム

山形大学 産婦人科専門医研修施設群 専門医研修プログラム

山形大学医学部附属病院 眼科専門医研修プログラム

山形大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科専門医研修プログラム

山形大学医学部 泌尿器科専門医研修プログラム

脳神経外科専門医研修 山形大学医学部プログラム

山形大学医学部附属病院 放射線科専門医研修プログラム

山形大学医学部附属病院 麻酔科専門医研修プログラム

山形県・山形大学医学部 病理専門医研修プログラム

山形大学医学部附属病院 救急科専門医研修プログラム

山形県リハビリテーション科 専門医研修プログラム

山形大学医学部附属病院 総合診療専門医研修プログラム

※ 2022年3月時点

大学院の進学～博士号の取得～

医学部を卒業後に、さらに専門分野の知識を深め、また研究活動を進展させたい人は、大学院に進学します。

山形大学では、大学院医学系研究科医学専攻を設置し、指導教員と一体となって医学領域の最先端の知識・技術を学び、自らが課題を解決する能力を身につけることで、高度な研究・判断能力を有した研究者や指導者になることを目指しています。

また、同研究科に先進的医科学専攻を設置し、学際的な新しい学問分野の開拓を目指す学生にも門戸を開いています。

山形大学大学院医学系研究科の構成

医学専攻（博士課程4年）

先進的医科学専攻（博士後期課程：3年）

医学科

人間性豊かな“考える”医療人の育成を目指します

4年次という早期から行う日本でも有数の長期間の臨床実習での実践をはじめ医療人の育成に努めています

本学科のカリキュラムは「広い視野をもち、自ら学び、考え、創造し、それらを発展させることができる医療人を育成する」という創設以来の基本理念のもとに作られています。6年間の医学教育において将来にわたり通用する医学知識・技術を学生に習得させることは不可能なので、医学部教育においては、基本的な医学知識・技術と共に、医学の進歩に対応し、自ら「学び、考え、創造する」能力と意欲を開発することに重点を置いています。また医療の対象は人間であるため、生命の尊厳を知り、医療人としての倫理観を身につけ、多様な人生観を受け入れる「人間性豊かな医療人の育成」は、本学の医学部教育における、もう1つの大きな柱になっています。



CURRICULUM

－優れた医師の育成のために現場で教育します－

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
「良き医療人」となるために身につけておくべき基本的事項を学びます。	基礎医学全般を学び、臨床医学に進むための必須知識の理解を深めます。	診断・治療法の基本を学び、研究室研修を通して希望分野の理解を深めます。	診断・治療法の実践を学び、試験合格後、スチューデント・ドクターとして臨床実習に取り組みます。	蓄えた知識を実際の臨床現場で確認し、検査、診断法、治療法の理解を深めます。	医療チームの一員（スチューデント・ドクター）として診療に携わり、2月の国家試験に備えます。
医学基礎教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目
基礎生命科学 化学 生物学 物理学 早期医学・医療体験学習	免疫学 微生物学 解剖学Ⅰ・Ⅱ 生理学 生体薬理学 病理学総論 基礎腫瘍学 局所解剖・画像診断特論	社会医学・医療学 臓器疾患学 基本診断学 循環器コース 血液コース 呼吸器コース 腎・尿路コース 内分泌・栄養代謝コース 消化管コース 肝・胆・膵コース 生殖器コース 周産期(含新生児)コース 神経コース 運動器コース 感覚器コース 精神系コース 皮膚コース 病理学各論 研究室研修	社会医学・医療学 全身性疾患学 感染症 免疫・アレルギー 成長・発達・遺伝・発生 加齢・死・環境 診療の基本 総合医学演習 基本診療学 基本的診療知識 症候・病態学 基本診療技能学 見学型臨床実習(ベッドサイドラーニング)	見学型臨床実習(ベッドサイドラーニング) 診療参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ) 特別講義	診療参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ) 特別講義
専門教育科目 人体物質代謝学 ゲノム解析学 解剖学総論 医学概論 統計学・疫学 生命科学演習 免疫学			 <p>全国初 スチューデント・ドクター 【Student Doctor】制度の導入 (2009年から)</p>		 <p>医学生が医行為を実施するにあたり、「スチューデント・ドクター (Student Doctor)」と称して、医師を目指す医学生としての自覚、心構え、医療に携わる人間としての責任感や使命感を再認識させることと併せて、社会及び患者さんに対し、たとえ医学生であっても、それがスチューデント・ドクター(Student Doctor)であれば、一定レベルの知識と技量を有している事を示すことで、その者の医行為を大学(病院)が保証することを目的に実施するものです。</p>
基盤共通教育科目					
導入科目 基幹科目 教養科目 共通科目					

※小白川キャンパス(基盤共通教育科目)と飯田キャンパス(医学基礎科目、専門教育科目)の始業時間等が異なります。小白川キャンパス/8:50～(1コマ90分)・飯田キャンパス/8:30～(1コマ100分)

※2022年度開講科目より抜粋

1年次

基盤共通教育ならびに医学基礎教育科目の修得

1年次では、学生が知識・技能や課題探求能力を確実に修得できる「基盤共通教育」を導入し学士課程の基盤となる教育を重点的にを行います。さらに近郊都市の協力のもと救急車に同乗し、救急医療の現場を体験します。

基盤共通教育科目

導入科目

学びのイメージを確立し、学習スキルを修得する

導入科目は、「スタートアップセミナー」と「学部導入セミナー」が開講されます。スタートアップセミナーは、大学での主体的な学修にスムーズに適応できるよう、プレゼンテーションやグループワーク、レポートの書き方、調査・情報収集の方法など主体的・能動的な学修のために必要な技法を修得するための授業です。また「学部導入セミナー」は、学部教育への導入として学部における研究・教育内容等を学び、大学での学習イメージを確立するための授業です。

基幹科目

「人間」「共生」「山形」を考え、学問のおもしろさに迫る

山形大学生が共通に身につけるべき素養を修得することを目的として、山形大学が教育上、特に重視している「人間」「共生」「山形」をテーマとして、学問への問題意識を醸成します。
人間を考える・共生を考える：
宇宙観、人権と共生 etc
山形から考える：
地域の知恵と科学の力でエコ社会創り etc

教養科目

学問の多様性を知り、知識の幅を広げる

学部・学科や専門分野に関係なく、幅広い学問分野に接し、学ぶことで、広く文化や社会、自然に対する視野を広げます。学問の多様性が体験でき、知識の幅も広がります。「文化と社会」、「自然と科学」、「応用と学際」をテーマとし、各自の学習意欲に応じて自由に科目を選択して学びます。
文化と社会：
日本国憲法、哲学ってどんなこと？ etc
自然と科学：
一般生物学、化学変化を考える etc
応用と学際：
みずから学ぶ etc

共通科目

学問の実践に役立つ知識や能力を修得する

学問の実践において必要な知識や能力、またそれを根底から支える健康や体力を身につけます。これらは、卒業後の社会人としての生活にも必須のスキルで、生涯にわたり役立ちます。「コミュニケーション・スキル」、「情報科学」、「健康・スポーツ」、「サイエンス・スキル」、「キャリアデザイン」の5テーマから学びます。
コミュニケーション・スキル：
英語、ドイツ語、フランス語 etc
情報科学：情報処理
健康・スポーツ：
フィットネス、バスケットボール、テニス etc
キャリアデザイン：自己理解 etc

医学基礎教育科目

基礎生命科学

医学の基礎知識として必要となる、化学、生物学、物理学及び生化学について、「医学教育における準備教育モデル・コア・カリキュラム」(平成13年度3月版)に準じて指導します。

早期医学・医療体験学習

救急車に同乗し患者搬送の現場を見学することにより、患者及び家族の状況を理解し、救急医療を実習します。あわせて医療の原点である救急医学の初歩を体験し、医学に対する興味を高めます。

専門教育科目

ゲノム解析学

核にコードされている遺伝子(塩基配列情報)全体を意味するゲノムは生命の設計図であり、疾患や体質に深く関わります。ゲノム理解が、個別化医療の実現などの医療革新につながると期待されています。個々の遺伝子の構造や機能、遺伝子の解析技術、遺伝・統計理論を学習し、さらに、ゲノムを研究対象とした医学について、考え方や手法、医療へのインパクトを具体的に学びます。

人体物質代謝学

生命を司る最小単位である細胞の活動についての理解があって、はじめて疾患の病因・病態・治療法が正しく理解できるようになります。細胞活動はエネルギー産生を中心とする物質代謝によって担われており、それに関わる遺伝子・酵素・生化学反応、さらに細胞が集まって構成する組織・臓器の働きに関する分子基盤について学びます。講義に加えて、グループに分かれて実習を行うことで、知識の定着を図り、科学的な考え方について学びます。

解剖学総論

専門課程において肉眼解剖学、組織学、神経解剖学を習得するための入門編として、総論的学習を開始します。医学における解剖学学習の意義や、人体を構成する各部分の名称を理解します。また「細胞」を構成する各要素や、「組織」の概念を理解することにより医学全体を習得するための基礎的事項を整理します。

山形大学医学部入学式



- ① 山形大学医学部入学式
山形大学全体の入学式の後、飯田キャンパスで開催します。
- ② 救急車搭乗実習
早期医学・医療体験学習で実施します。
- ③ 基盤共通教育科目の授業
様々な学部の教員により多様な授業が開講されます。
- ④ 附属病院見学
4月に授業の一環として山形大学医学部附属病院で実施します。

2年次

基礎医学全般の修得 医学専門課程の開始

2年次からは医学部および附属病院のある飯田キャンパスで学びます。医学全体の基礎を学ぶため、解剖学をはじめとした基礎医学全般の講義ならびに実習を行います。

主な科目

解剖学 I

講義と4～5名の実習グループによる人体解剖実習により、ヒトの骨、皮膚、皮下、骨格筋、体腔、内臓、血管系、神経系等の肉眼解剖的構造を学びます。人体構造の用語は原則として国際解剖学用語に従い、日本解剖学用語および医学用語との関係を正しく説明する能力も養うことができます。

解剖学 II

解剖学は構造・形態の観点から人体の機能を理解することを目的とするものであり、同時に、基礎・臨床を含めた医学全体を習得するためのイントロダクションであるという視点から授業を進めます。人体を構築する様々な器官・組織について顕微鏡による観察、スケッチ及び記述説明を行うことで、略図と文章による表現力も養います。

生理学

生理学は、生体機能とそのメカニズムを明らかにすることを目標とする学問であり、歴史的にも、そして現在においても、医学の基幹となる学問です。人体機能学では、人体の動物性生理機能および植物性生理機能に関して、医学モデル・コア・カリキュラムに沿いながら学習します。細胞レベルの生体機能から器官臓器の機能を経て、個体レベルの人体機能まで、講義と実習を通じて幅広く学習を進めます。

免疫学

免疫系は外界の異物の侵入から身体を守ると同時に、体内に発生する癌細胞を除去するなど、生体の恒常性を保つために必須な機構です。免疫学では、免疫系の仕組みを分子レベルから個体レベルで学び、感染症やアレルギー疾患、癌、免疫不全症、移植医療など、現代の医学、医療において免疫系が関わる様々な課題に対応するための基礎学力をつけることを目標としています。実習では実際に動物を使って免疫応答を観察するなど、理解を深めてもらいます。

微生物学

細菌やウイルス、寄生虫など様々な微生物が、どのようにして生体に侵入し増殖するのか、その結果どのような病気を起こすのかを学びます。実習では実際に微生物を増殖させて、ウイルスが感染した細胞や細菌のコロニーを観察します。増殖した微生物の定量や染色を行うことにより、微生物に対する理解を深めます。

生体薬理学

医療の場において薬物治療は大きな役割を演じているため、薬物について正確に理解することは重要です。薬物はどのようにして薬理作用を発揮するのか、また薬物に対して生体はどのように影響を及ぼすのかについて、講義および実習を通して学びます。

病理学総論

ヒトに発生するあらゆる病気について、その病気が何か、どのようにして発生するのか、どのような経過をたどるのかについて、主として形態学的アプローチ法あるいは分子病態学的思考法で学習します。また、患者さんの身体から採取された病変の組織や細胞から標本を作り、これらを顕微鏡で観察して診断するのが病理診断であり、これらの手法についても実習を行います。

基礎腫瘍学

悪性腫瘍(がん)はほとんど全ての臓器・組織に発生する疾患で、長らく死亡率の最上位を占め続けています。このように広汎かつ重要な疾患であるがんの「本質・本態」について遺伝子・分子のレベルから学習し、将来個々の臓器に発生するがんについて学ぶために必要な基礎的理解を深めます。

局所解剖・画像診断特論

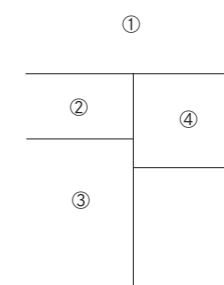
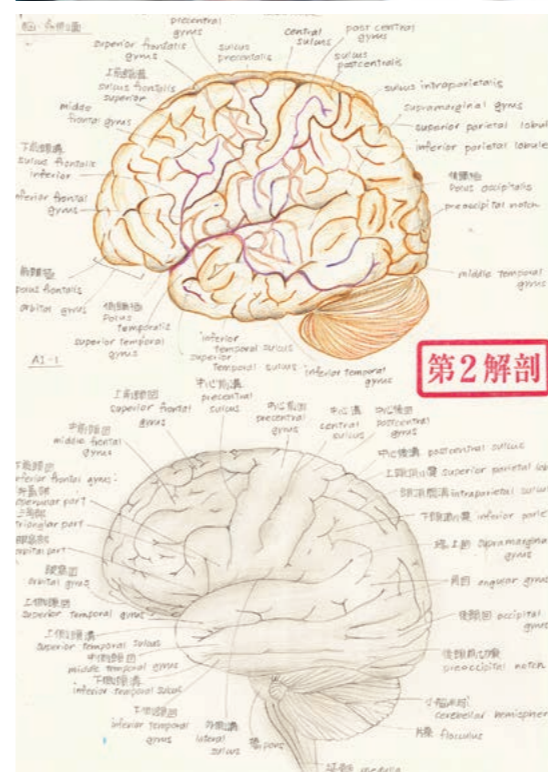
臨床現場で診断や治療手技に直結する局所解剖について、画像と対比して学習します。病的な画像を理解する上で、正常解剖に基づく正常画像所見を理解することはきわめて重要です。臨床に必要な解剖学的事項について臨床科の先生が、正常の画像解剖について放射線診断科の先生が、それぞれ丁寧に解説します。

飯田キャンパスと小白川キャンパス

1年次の授業は、小白川キャンパス(基盤共通教育科目)と飯田キャンパス(医学基礎教育科目・専門教育科目)で開講されることから、曜日により通学するキャンパスが異なりますが、2年次からは毎日飯田キャンパスに通学することになります。

小白川キャンパスは、全学部の1年次生と、人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部の全学生が勉学に励む山形大学のメインキャンパスです。サークル活動などを通して様々な学部の学生と出会い、共に励むことで、充実した学生生活を送ることができるでしょう。

医学部の拠点である飯田キャンパスには、医学科と看護学科のほか、県内最大規模の病院である医学部附属病院があります。医師、看護師、病院スタッフなどたくさんの方が行き交うキャンパスには、医学部独特の雰囲気があり、自分が目指している世界を常に感じつつ、同じ志を持つ仲間達と勉学に励んでいきます。



- ① 人体模型を用いた授業 (解剖学第一講座)
- ② 解剖学のスケッチ風景 (解剖学第二講座)
- ③ 脳のスケッチ

2年次では、解剖学をはじめ様々な講義の中で医学の基礎的知識を整理するとともに、実習をとおして講義で得られた知識を確認し、人体の構造と機能を実学として理解を深め、また、生命科学の進歩を支える基本的な方法論を学びます。

3年次

臨床医学と社会医学の入門 魅力あふれる研究室研修

2年次に学んだ医学的基礎知識をもとに、臨床系・基礎系の統合型講義による臓器別学習を行います。ここでは学生が少人数グループに分かれ、自ら課題を見つけ解決する学習体制も取り入れています。さらに一定期間各研究室で医学の最前線の研究活動を体験するコースも設けられています。

主な科目

臓器疾患学

各臓器にみられる異常について、異常のメカニズムや診断・治療法の講義、PBL（課題解決型学習）、実習を行います。

基本診断学

臓器別コースの学習に必要な疾患の基礎的な知識等について、次の3つのポイントによる授業を行います。

1. 各疾患の理解に必要な臨床解剖
2. 各疾患の理解に必要な病態生理（薬理を含む）
3. 診断法の基礎的知識（画像、内視鏡等）

循環器コース

心不全、虚血性心疾患、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性心疾患、動脈疾患、静脈・リンパ管疾患、高血圧症等

血液コース

貧血、白血病と類縁疾患、悪性リンパ腫と骨髄腫、出血傾向・紫斑病、脾臓疾患等

呼吸器コース

呼吸不全、低酸素（血）症と高二酸化炭素（血）症、呼吸器感染症、閉塞性・拘束性障害をきたす肺疾患、肺循環障害、免疫学的機序による肺疾患、肺癌、気管支拡張症とその他の肺疾患、胸膜・縦隔疾患等

腎・尿路コース

腎不全、原発性糸球体疾患、腎血管障害、尿管機能異常、間質性腎疾患、全身性疾患による腎障害、先天異常、腫瘍と外傷、尿路疾患等

内分泌・栄養代謝コース

視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺（上皮小体）疾患とカルシウム代謝異常、副腎皮質・髄質疾患、糖代謝異常、脂質代謝異常、タンパク質および核酸代謝異常、ビタミンの欠乏と過剰、先天性代謝疾患等

消化管コース

食道疾患、胃・十二指腸疾患、小腸・大腸疾患等

肝・胆・膵コース

胆道疾患、肝疾患、膵臓疾患、腹膜・腹壁・横隔膜疾患等

生殖器コース

男性生殖器疾患、女性生殖器疾患等

周産期（含新生児）コース

周産期系に関わる臓器の構造と機能、および周産期疾患等

神経コース

脳・脊髄血管障害、認知症と変性疾患、感染性・炎症性・脱髄性疾患、脳・脊髄腫瘍、頭部外傷、末梢神経疾患、筋疾患、発作性疾患、先天性と周産期脳障害等

運動器コース

四肢と脊柱の構造と機能、各部位の外傷や疾病等

感覚器コース

視覚病態学分野、耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野等

精神系コース

精神障害に関する知識を修得するのみでなく、身体医学でも必要になる患者の心理、患者・医師関係等

皮膚コース

湿疹・皮膚炎群、じんま疹、紅斑症、紅皮症と皮膚掻痒症、紫斑・血流障害と血管炎、薬疹・薬物障害、水疱症と膿疱症、乾癬と角化症、母斑、腫瘍と色素異常、皮膚感染症、全身疾患等

病理学各論

人体各器官の正常構造、疾病の病態生理、病理所見

社会医学・医療学

疾病予防、生活習慣病、温度や騒音などの環境や食品・住居がもたらす生体への影響、産業保健、学校・母子保健、医学統計学について学びます。講義と共に実習も予定しています。

研究室研修

2～4名単位で希望する研究室に配属され、4週間1日中配属された教室で過ごします。内容は研究室により千差万別ですが、実験を行い論文を作成する研究室、文献を読み内容を発表する研究室、講義で習った検査や手技を実際に体験する研究室などがあります。



- | | | |
|---|---|--|
| ① | ⑤ | ① 臓器疾患学（消化管コース）の授業
（内科学第二講座） |
| ② | ⑤ | 講義の他に、具体的な症例等を基にした課題についてグループ学習・発表形式の授業も行い、問題解決能力も身につけられるよう工夫がなされています。 |
| ③ | | ② 医学部図書館 |
| ④ | | ③ 本県唯一の医学部の図書館として、医学及び看護学関係の資料の充実に努めています。文献検索用として、医学中央雑誌Web版等データベースやメディカルオンライン等電子ジャーナルを利用できます。 |
| | | ④ 基礎棟 |
| | | 講義室、実習室や基礎系講座の研究室等があります。 |

4年次

臨床医学の知識の修得と病院実習の開始

臓器別コースで獲得した知識をさらに統合するために、全身性疾患学の学習を行います。8月・9月には全国共通に行われる「臨床実習開始前の共用試験」が実施されます。この共用試験は医学的知識を問う「CBT」(8月)と患者に接する態度・技能を試す「Primary OSCE」(9月)から構成されるもので、学内試験とともに臨床実習を行うに必要な知識と技能が審査され、スチューデント・ドクター (Student Doctor) として10月からは附属病院にて外来および病棟での臨床実習を行います。

主な科目

全身性疾患学

概ね診療分野毎にコースが分かれ、症状、診断、治療について学びます。また、一部のコースでは複数の診療科や基礎医学系の講座が相互に講義を担当します。

[内科系]

(内科一、内科二、内科三、精神、小児)コース

[外科系]

(外科一、外科二、脳外、整形、皮膚、泌尿器、眼科、耳鼻科、形成外科)コース

[感染症]

[免疫・アレルギー]

[成長・発達・遺伝・発生]

[加齢・死・環境]

基本診療学

放射線
麻酔
救急
リハビリテーション

社会医学・医療学

衛生・公衆衛生学と法医学の講義を行います。疫学、疾病対策、衛生・医療・福祉行政、老人保健、精神保健及び医事法制、異状死体とその取り扱い、損傷の見方、中毒分析、個人識別とDNA鑑定など社会的な関心の強い内容が多くなっています。

基本診療技能学

各科での臨床実習を開始するに当たり、本学部附属病院の診療システムの概要を理解するとともに、実際の医療を実践するために必要な症状から病態を推察できる診察法、検査法の理解、患者と接する際の医師としてのマナー、面接技法、身体診察技法の基本を学習します。

総合医学演習

【漢方東洋医学】
【臨床腫瘍学】
【地域医療学】
【医学・医療原論】

通常の系統講義ではカバーできない、東洋医学や悪性腫瘍の横断的な診断・治療学について学びます。

地域医療を取り巻く制度的な枠組みについて学んだ上で、地域医療の現状と今後の課題についての理解を深め、地域医療に貢献するための基礎的知識を身につけます。

医療安全、チーム医療、医療裁判など医療の基本原則に関わる問題点とともに、それを解決し、より充実した体制を築く方策について模索していきます。

臨床実習

山形大学医学部附属病院で、スチューデント・ドクター (Student Doctor) として実際の診察、検査や治療の見学や体験をします。これまでの講義で学び蓄えた知識を実際の臨床現場で確認し、多くの疾患の診断法、検査や治療法についての理解を深めます。多くの患者さんと接することによって、患者さんに対するマナーや患者さんを思いやることのできる医師になるための心構えについて学びます。

医師の専門分野は？

病院に行くと、内科や外科など、様々な診療科があります。それぞれの診療科には専門の医師やスタッフがいて、診察や手術などを行っています。それでは、医師の専門分野はどのように決まっていくのでしょうか。

入学してから卒業までは、医学のすべての分野について勉強をしていきます。学年が進むにつれて、より専門的な分野に触れていくことになるので、自分の希望する専門分野について、徐々にイメージが具体的に変わってくるでしょう。また、4年次の10月からは附属病院で見学型臨床実習(ベッドサイドラーニング)が始まり、さらに5年次の10月からは診療参加型臨床実習(クリニカルクラークシップ)が始まります。各診療科等での経験を積む中で、自分の希望する診療科がより明確になってくるはずです。

卒業が決まり、医師国家試験に合格すると、自分の希望とマッチングした病院で2年間の初期臨床研修を受けることになります。(P10、P28参照)この頃から、それぞれの専門別の道に分かれていきます。これから受験を控えている皆さんにとってはまだまだ先の話ですが、晴れて入学した後は、自分の専門についてじっくり考えてみてください。



- | | |
|---|---|
| ① | ④ |
| ② | |
| ③ | |
- ① 顕微鏡を用いた極小血管の吻合実習 (ドライラボ) (脳神経外科講座)
 - ② メディカルスキルアップラボラトリー
世界最高水準の医療シミュレーター教育を提供しています。
 - ③ 出産の実習 (産科婦人科学講座)
 - ④ 微生物の実習 (検査部)

10月から始まる臨床実習では、5年生の7月までの間、山形大学医学部附属病院の19の診療科で学びます。

5年次

全国と比べ、より長期にわたる充実した臨床実習

引き続き、各診療科の臨床実習を行い、全科の診療を学習します。

ベッドサイドラニングからクリニカルクラークシップへ

5年次からは、4年次に引き続きベッドサイドラニング (bed side learning) と呼ばれる病院実習が行われます。ベッドサイドラニングでは、4年次10月から5年次7月までの間で19の診療科を各々2週間ずつ学びます。この実習は、これまでの講義で学び蓄えた知識を実際の臨床現場で確認し、多くの疾患の診断法、検査や治療法についての理解を深めることを目的に行われます。また、多くの患者さんと接することによって、患者さんに対するマナーや患者さんを思いやることのできる医師になるための心構えについても学びます。この実習ではじめて患者さんと接し、講義などの机上での学習では学ぶことのできないことも学び、医師の歩むべき第一歩として、様々な経験を積む場でもあります。また、ベッドサイドラニング終了後には5年次試験が行われます。この結果が一定水準以上に達していることが、クリニカルクラークシップ開始資格判定基準のひとつとなっています。

ベッドサイドラニング実習を行う診療科

第一内科	第一外科	小児科	眼科	救急医学・形成外科
第二内科	第二外科	整形外科	皮膚科	統合型臨床医学 (病理・検査・腫瘍内科)
第三内科	脳神経外科	泌尿器科	放射線科	
精神科	産科婦人科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	麻酔科	

クリニカルクラークシップ実習

全てのベッドサイドラニング実習が終了したところで、診療参加型実習であるクリニカルクラークシップ (clinical clerkship) 実習に入ります。

このクリニカルクラークシップは、臨床医の前段階としての診療行為を積極的に実施することによって、より深く実診を学ぶことを目標としており、36週間 (5年次10月～6年次7月) にわたって行われます。ここでは、19の診療科および広域連携臨床実習関連病院の中から4週間ずつ興味のある9つの診療科を実習することになります。

山形大学医学部附属病院では、36週のうち24週間の実習を行います。同じ番号のグループから1診療科を実習します。

1 グループ

第一内科
第二外科

2 グループ

第二内科
第一外科

3 グループ

第三内科
脳神経外科

4 グループ

小児科
精神科
放射線科
統合型臨床医学
(病理・腫瘍内科)

5 グループ

整形外科
泌尿器科
眼科
耳鼻咽喉・頭頸部外科
形成外科

6 グループ

皮膚科
産科婦人科
麻酔科
救急医学

学外関連病院では、36週のうち12週間の実習を行います。関連病院から3つの病院を選択し、4週間ずつ実習を行います。

広域連携臨床実習関連病院

日本海総合病院	県立中央病院	山形市立病院済生館
寒河江市立病院	鶴岡市立荘内病院	県立新庄病院
山形済生病院	篠田総合病院	米沢市立病院
東北中央病院	公立置賜総合病院	三友堂病院
	庄内余目病院	県立河北病院



- | | |
|---|---|
| ① | ④ |
| ② | ⑤ |
| ③ | |
- ① 心臓カテーテル (内科学第一講座)
 - ② 血圧ガス測定 (外科学第一講座)
 - ③ 採血実習 (検査部)
 - ④ 術前・術後検討 (外科学第二講座)
 - ⑤ 麻酔科

5年次10月から6年次7月までの実習では、診療チームの一員として診療業務を分担しながら、医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学んでいきます。

6年次

医療チームの一員として診療に携わり、2月の国家試験へ

全診療科での臨床実習後、自己選択型の高度臨床実習(クリニカルクラークシップ)を行います。本学ではクリニカルクラークシップの施行に当たり、法律に基づいて「学生に許容される医行為の範囲」を厳格に定め積極的な臨床技能の獲得に特に力を入れています。

クリニカルクラークシップから卒業試験・特別講義、医師国家試験、晴れて卒業

6年次では、5年次に引き続き、クリニカルクラークシップを7月中旬まで行います。

ベッドサイドラーニングに比べ、クリニカルクラークシップは1診療科等につき4週間と長い期間を設けており、実際に医療チームの一員として患者さんの診療に携わります。患者さんの同意のもとで、医師とともに診察し治療計画を考え、必要な検査や手術にも加わり、カルテの記載も行います。この実習を経験することで、医師になってからも戸惑うことなくスムーズに初期研修に入ることができます。

クリニカルクラークシップを終えると、Post-CC OSCE (臨床実習終了時客観的臨床能力試験)を経て、医師国家試験形式の卒業試験が始まります。10月には特別講義が行われ、各々の苦手分野の克服、これまで学んできた知識の整理を行い、6年間の集大成として万全な状態で2月の国家試験に備えます。そして、3月には晴れて卒業を迎えます。

Post-CC OSCE (臨床実習終了時客観的臨床能力試験)

すべての臨床実習が終了すると、「Post-CC OSCE」により、卒業後の臨床研修において必要とされる臨床能力を習得できているか、評価を受けます。

「Post-CC OSCE」は、これまで行ってきた臨床実習で培った能力についての「客観的臨床能力試験」です。模擬患者を対象に、医療面接・身体診察・情報の整理などを行い、医師に必要な診療技能や患者さんに接する態度等の評価を行います。

この試験に合格し、かつ卒業試験にも合格し卒業予定者になれば、いよいよ医師国家試験に備えることになります。

医師国家試験

卒業試験にも合格し卒業予定者になると、医師国家試験を受験します。

医師国家試験は、厚生労働省が実施する試験です。毎年2月に2日間の日程で全国13の試験会場において一斉に行われ、東北地区では仙台で試験が実施されています。

山形大学医学部の卒業生は6年間の学修の成果を大いに発揮し、例年高い合格率となっています。

医師国家試験に合格すると、医師免許の交付を受け、医師としての第一歩を踏み出すことになります。

6年生の一年間

4月	4月 ▶ 7月 クリニカルクラークシップ	10月	10月 ▶ 11月 特別講義
5月		11月	第4回卒業試験
6月		12月	12月下旬 卒業予定者発表
7月	7月 Post-CC OSCE	12月	12月上旬 ▶ 1月上旬 冬季休業
8月	8月 ▶ 10月 第1～3回卒業試験 (夏季休業 7月下旬～8月下旬)	1月	
9月		2月	2月 医師国家試験
		3月	3月 学位記授与式 (卒業式)



- | | | |
|---|---|----------------------------|
| ① | ② | ① 縫合実習
(外科学第一講座) |
| | | ② 手術室実習
(耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座) |
| | ③ | ③ 腹腔鏡手術
(腎泌尿器外科学講座) |
| ④ | | ④ 内視鏡検査
(内科学第二講座) |
| ⑤ | | ⑤ 腹部エコー
(内科学第二講座) |

先輩からのメッセージ

新しい環境



▶ 渡辺尚暉さん
《群馬県立前橋高等学校》

1年次の講義は基盤科目と専門科目が並行して行われます。まず基盤科目では自分で履修する講義を決めることができるため、より関心を持って主体的に取り組むことができます。また他学部の学生と一緒に講義を受けるため多くの友人をつくる良い機会となります。次に専門科目では人体物質代謝学やゲノム解析学といった基礎医学を学び始めます。また医学概論という講義では医師として働いている先生方が各診療科の疾患や診療について紹介していただき、医学への関心を高めることができます。講義以外にもDNAの分析や顕微鏡を使ったスケッチなど、様々な実習がありモチベーションを高く維持することができました。

受験勉強には多大な努力が必要となりますがその努力は結果として必ず後からついてくるでしょう。また目標のためにそれだけの努力をできたという経験が今後の人生の大きな糧になると思います。ぜひ後悔のないように最後まで全力で駆け抜けてください。

より専門的な医学の世界へ



▶ 牧田朱加さん
《湘南白百合学園高等学校》

2年次では、臨床医学に必要な不可欠な医学の基礎を、附属病院に併設されている飯田キャンパスにて学びます。より専門的な医学知識を講義で学ぶだけでなく、実習を通して骨格標本やご遺体に触れることができ、医者を目指している者としての自覚が芽生えます。また、臨床科の先生の講義を受ける機会もあり、臨床医学への期待も膨らみます。

毎日が新しい知識との出会いで学ぶことが多い上に、実習やスケッチ、試験勉強に追われる日々は、充実している一方で、一人では大変なことも多々あります。大学というと、先生と学生の距離が遠いように思われがちですが、山形大学の先生方は時間の許す限り疑問に答えてくださいます。また、医学科生の多くは大学周辺で一人暮らしをしているために、友人と共に勉強しやすい環境となっています。

受験勉強では結果がなかなかあられず、辛い時期もあると思います。それでも努力が続けられた経験は、医学科に入っても必ず活きます。自分の今までの努力を信じて、最後まで頑張ってください。そして、飯田キャンパスで会えることを楽しみにしています。

ステップアップする1年



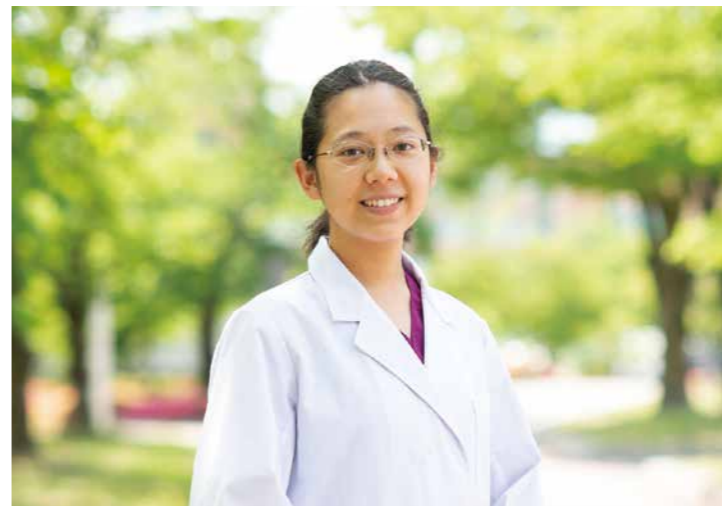
▶ 小山未来さん
《宮城県仙台第二高等学校》

3年次は座学が中心となり、1、2年次における人体の“正常”を学ぶ講義から、人体の“異常”、つまり病気を学ぶ講義に変わります。臨床で働く先生方が、実際の症例を用いて講義して下さるので、疾患をより身近に感じながら勉強することが出来ます。また、ある症例について診断や治療方針を検討して発表し合うPBLがあります。学生だけで診断を考えるのでその難しさを痛感しますが、ある症状や所見を見てどのような疾患が考えられるか？という国家試験やその後の臨床でも必要な力を培うことが出来ます。

さらに、夏頃には1ヶ月間研究室に所属して研究を行います。私は臨床研究を行う傍ら大学病院で診察や治療を見学させて頂いたのですが、臨床の場に出会う機会がなかった私にとって今後のモチベーションに繋がる貴重な経験となりました。

3年次は部活でも幹部となり、勉強と部活で多忙な時期もありましたが、メリハリをつけることで充実した1年を過ごすことが出来ました。山形大学には信頼できる仲間と共にやりたいことに打ち込める環境があります。ぜひ山形大学医学部と一緒に充実した学生生活を送りましょう！

座学から臨床現場へ。学び溢れる充実した日々。



▶ 松田そらさん
《埼玉県立大宮高等学校》

4年生の前期は3年生に引き続き臨床系の座学中心の授業になります。また、公衆衛生学や法医学、地域医療、東洋医学など、医学に関わる幅広い分野についても学んでいきます。

8月、9月には全国の医学部の共用試験であるCBT、OSCEが行われ、臨床実習に臨むための基本的な知識と技能が身に付いているかが試されます。この試験に合格すると、いよいよ附属病院での臨床実習の始まりです。2週間ごとに全ての診療科をまわり、臨床の現場を通して今まで身に付けてきた知識をさらに深めていきます。実際に患者さんの診察をさせていただいたり、手術見学に入らせていただいたりしながら、現場の空気感を肌で感じることが出来ます。そして何より、毎日が学びに溢れる充実した日々を過ごすことが出来ます。山形大学では共用試験が他大学よりも早い時期に行われるため、臨床実習の時間が長く確保されています。時間をかけて実習しながら、自らの将来の方向性をじっくりと考えることができるのも、魅力の一つだと感じています。

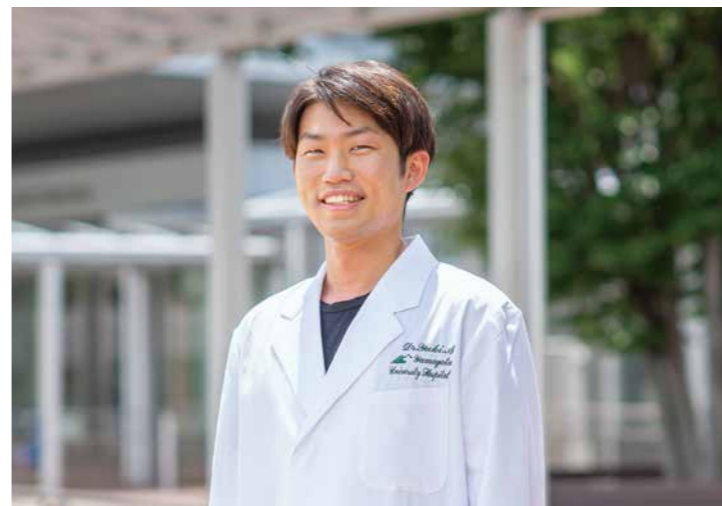
将来を見据えながら



▶ 加賀谷啓太さん
《千葉県立佐倉高等学校》

5年次の上半期までの実習が終わると、大学病院にある治療科を一通り回ったこととなります。実習にも慣れてきた下半期からは自分の希望の科を回るクリニカルクラークシップが始まります。大学病院では1年間の実習で身に付けた知識を4年生の新しい実習生に「屋根瓦方式」に教えるとともに、より多くの手技や臨床に即した症例を経験することが出来ます。また地域連携病院にも赴き大学病院とはまた違った医療現場の雰囲気を感じることもできます。私自身、様々な医療現場で教育熱心な先生方から手厚い指導を受ける中で、自分が将来どんな医師になりたいかを考えるようになりました。それは山形大学の実習カリキュラムが職業訓練的なものに終始するのではなく、患者さんとのコミュニケーションを大切にしているからだと思います。医学的知識や手技はもちろんのことそういった人間的な面も養ってくれる濃密な実習プログラムは決して物足りなく感じることはないと思います。

医師への道をこの山形大学で



▶ 結城翔太さん
《山形県立山形東高等学校》

6年生は、4月から6月まで病院実習が続き、その後は7月から9月まで卒業試験と研修病院マッチング試験、11月に総合試験と連続して試験が続きます。私たちはコロナ真っ只中の世代で実習がオンラインまたは中止になったり、病院見学が制限されたりしましたが、先生方や学務課の方々のサポートもあり、何とか乗り越えることができました。また、最後の関門である2月の医師国家試験に向けては朝から晩まで同期と切磋琢磨して勉強し、合格を掴み取りました。

山形大学医学部は実習期間が他大学より長く、重粒子線治療やロボット支援手術、がんゲノム医療など最先端の医療に触れられる機会が多々あります。先生方は熱心に御指導していただき、時にはオンライン勉強会や各種セミナー等が開催され、コロナ禍であってもしっかりと学習できる環境が整っています。

高校生の皆さん、この山形大学で医師を目指してみませんか？皆さんの御入学を心からお待ちしております。

卒業臨床研修



卒業臨床研修の特徴

山形大学医学部附属病院卒業臨床研修センターは、平成16年度の卒業臨床研修必修化に先立ち、平成14年春に設置されました。これまで436名の初期臨床研修医が研修を修了し、次のステップに向けて進んでいます。当センターでは、山形大学医学部附属病院で初期臨床研修をされる皆さんが質の高い充実した研修を受けられるように、特に以下の点を重点課題として取り組んでいます。

卒業臨床研修センター長 **今田恒夫**教授

〈 個々人に合わせた研修プログラム 〉

新専門医制度に十分対応した研修ができるよう、できるだけ自由度をもたせたプログラムを用意しています。山形県内の主な研修病院はすべて協力病院として登録されており、大学病院と市中病院の双方で研修することができます。

〈 指導体制の充実 〉

各研修科の指導医による教育に加えて、すべての臨床科より選抜された24名の医師によって構成される卒業臨床研修センター「教員会」の先生方が一人ひとりの研修医の受け持ちとなります。研修の進捗状況の把握と助言だけでなく、生活に関する相談など、きめ細かい指導をしています。

〈 研修環境の整備 〉

レジデントハウス(宿舍)や個人用デスクを備えた研修医室が整備され、院内には24時間体制の保育所やコンビニなども設置されており、研修しやすい環境が整っています。また、講習会等の参加費や学会・研究会等に係る旅費の支給制度を活用し、自身のスキルアップも可能です。病院の再整備も終了し、最先端の設備を駆使した高度な医療の提供を行っています。

山形大学医学部の卒業臨床研修について

山形大学医学部附属病院では、「卒業臨床研修センター」が2年間の初期臨床研修のお世話をしています。われわれの卒業臨床研修プログラムの一例を次に示します。このプログラムの特徴は、1年目から希望科の研修を可能として自由度をもたせ、将来の専門性も考えた研修を行えることです。新たな専門医制度に対応済みで、研修中に幅広い経験ができるよう配慮します。

また、希望科を決めていない研修医については、2年目に大学病院自由枠を最長7ヵ月設定し、研修1年目の12月までに研修する診療科を決定できます。既に研修する希望科を決めてある場合でも大学病院希望科枠では、診療科の変更が可能です。

大学病院と一般病院での研修にはそれぞれに特徴があります。

両者の利点を最大限活用するために、当院では地域の研修協力病院を最長で12ヵ月まわられる「たすきがけプログラム」を実施しています。希望に応じて最適な研修先を選択することができます。

研修においては、指導体制が重要です。山形大学医学部では各分野のエキスパートが研修の指導にあたっています。研修医向けの実践的なセミナーや各種研究会も定期的に関われ、多角的に研修を進めることができます。キャンサートリートメントボードでは関連する診療科の医師が一堂に会して意見を出しあい治療方針を決定します。このように総合的な診療能力をつけるのに最適な環境が整っています。



オリエンテーション 縫合



オリエンテーション CVカテ



集合写真

卒業臨床研修プログラム

プログラムの例

1年目				2年目							
内科	内科	救急	希望科	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	希望科	希望科	希望科
(大学・協力病院)				(大学・協力病院)							
3か月	3か月	3か月	3か月	1か月	1か月	1か月	1か月	1か月	1か月	3か月	3か月

- 3か月ごとのブロックで順番は自由に入れ替え可能。
- 研修期間全体の1年以上は、大学病院で研修を行う。
- 最初の3か月は大学病院で研修を行う。

多数の研修協力病院で多様な臨床研修が可能

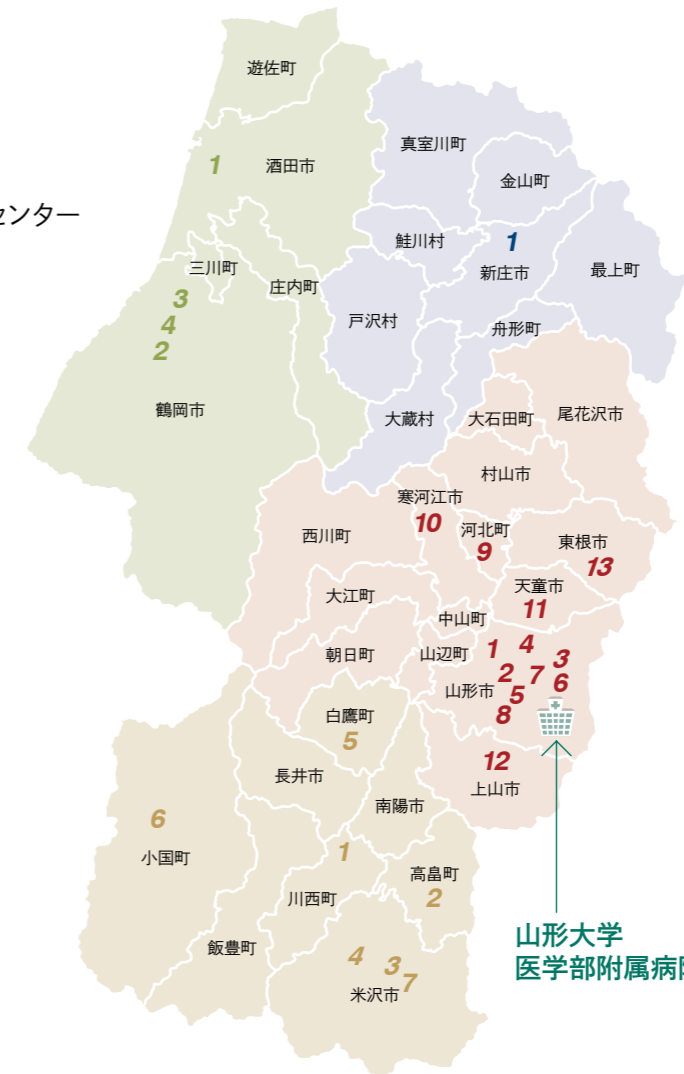
山形県内

庄内

1. 日本海総合病院
2. 県立こころの医療センター
3. 鶴岡市立荘内病院
4. 鶴岡協立病院

置賜

1. 公立置賜総合病院
2. 公立高島病院
3. 米沢市立病院
4. 三友堂病院
5. 白鷹町立病院
6. 小国町立病院
7. 国立病院機構米沢病院



最上

1. 県立新庄病院

村山

1. 国立病院機構山形病院
2. 山形済生病院
3. 県立中央病院
4. 千歳篠田病院
5. 篠田総合病院
6. 東北中央病院
7. 山形市立病院済生館
8. 二本松会山形さくら町病院
9. 県立河北病院
10. 寒河江市立病院
11. 秋野病院
12. みゆき会病院
13. 北村山公立病院

山形県外

- 宮城県石巻赤十字病院

最高の景色をもとめて 歩き続ける

せっかく大学生になったのならおもしろい趣味にのめりこみませんか?
一生続けられるスポーツ、登山。山に囲まれた山形は最高の場所です!



ワンダーフォーゲル部

■活動：土、日どちらか、または両日
■主な行事：4～11月までの無雪期に日帰りor泊まり
12～3月はスキー、スノボ、個人で冬期登山も



Club&Circle サークル活動に夢中!



硬式テニス部



ソフトテニス部



準硬式野球部



剣道部



フットサル部



ハンドボール部



ソフトボール部



合気道部



室内合奏団



聖書研究会



Sound Room (軽音学部)



同窓会新聞部

何かに夢中になれる時間は、学生生活を
より楽しく充実したものにしてくれるはず!



バレーボール部



卓球部



バスケットボール部



サッカー部



映画部



DoD (ダンス部)



YMSA (Yamagata Medical Student Association)



少林寺拳法部



空手道部



水泳部



ラグビー部



陸上競技部



柔道部



ゴルフ部



ヨット部



弓道部



バドミントン部



競技スキー部

Fight



「知のスポーツ」にトライ!

将棋部

週2日、将棋を指しています。将棋を極めたい人も、たまに指す程度の人でも過ごしやすい環境です。
初心者への指導は勿論、詰将棋などの解き合いを行って、将棋を楽しんでいます!
初心者の方から有段者まで、今日の将棋ブームにのってみませんか?

■練習：週2日
■主な行事、大会：11月にある職場団体対抗戦



学生生活データ

充実した奨学金制度・福利厚生施設

初年度納付金	
入学金(予定額)	282,000円
授業料(予定額)	535,800円
学生教育研究災害傷害保険 (学研災付帯賠償責任保険特約を含む)	7,800円 (6年間)
学研災※付帯学生生活総合保険 (6年間)	51,050円 (6年間)
医学科後援会(6年間)	89,000円
医学科同窓会(入会金)	50,000円
山形大学小白川サークル会(1年次のみ)	2,000円
山形大学校友会会費(生涯会費)	10,000円
英語力強化経費	6,200円
合計	1,033,850円

- 1 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。
- 2 入学金免除・授業料免除制度
経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる学生は、願い出により選考の上、入学金・授業料の全額または半額を免除する制度があります。
- 3 授業料支払い方法
①年1回一括払い、②年2回払い、③年10回均等払い、④年10回ボーナス併用払いの4つから選択することが可能です。
※記載以外に3つのタイプがあります。

奨学金

本学部で取り扱っている奨学金は、日本学生支援機構、地方公共団体、民間奨学団体、各病院のものがあります。これらの奨学金においては、いずれも学業・人物ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により学資の支弁が困難であると認められる者が対象になっています。また、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯で意欲ある学生に対して、返還が不要な給付型の奨学金があります。別途、大学に申請を行うことで、授業料等の免除も同様を受けることができます。

日本学生支援機構奨学金(2022年度の場合)

貸与型(種類)	貸与月額(希望額を選択)
第一種奨学金(無利子)	自宅通学者 20,000円 / 30,000円 / 45,000円
	自宅外通学者 20,000円 / 30,000円 / 40,000円 / 51,000円
第二種奨学金(有利子)	20,000円～120,000円までの1万円単位で選択

給付型(種類)	給付月額	
	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円

※カッコ内は生活保護世帯等の金額

山形県医師修学資金(2022年度の場合)

種類	貸与年額
地域医療従事医師確保修学資金 (大学卒業後、山形県内の医師の確保が必要な地域に勤務する意思を有していること等)	200万円
特定診療科医師確保修学資金 (大学卒業後、山形県内の医師の確保が必要な診療科(小児科・産婦人科・放射線科・麻酔科・救急医療)に従事する意思を有していること)	200万円

山形大学山澤進奨学金

平成19年度から開始された山形大学独自の奨学金で、医学部で1名年額60万円が返還不要で6年間支給されます。さらに、同奨学金に採用された方は、入学金と支給期間の授業料が全額免除になります。採用条件は、先に述べたことに加え、卒業後山形県内で4年間働くことを確約していただける方となります。詳しくは山形大学のホームページでご確認ください。

保険

本学部では、学生が安心して学生生活を送ることができるよう、正課を受けている間、大学行事に参加している間、課外活動を行っている間または通学中・施設間移動中における不慮の災害事故を補償する「学生教育研究災害傷害保険」のほか、教育研究活動中に他人にケガを負わせたり、他人の物を壊すなどしたことにより発生した損害賠償責任を補償する「学研災付帯賠償責任保険」にも加入いただいております。

また、さらに臨床実習中の感染事故、針刺し事故等をも補償対象とする「学研災※付帯学生生活総合保険」にも加入いただいております。

学生相談室

キャンパス内に学生相談室を設置し、カウンセラー(臨床心理士)が学生のみなさんのどんな悩み・心配事についても相談を受け、学生生活をサポートしています。毎年、多くの学生が学生相談室を活用しています。

福利厚生施設

学生・教職員のための福利厚生施設として、医学部会館に食堂・売店・理髪店等が設置されているほか、附属病院内にコンビニ・コーヒーショップ・カフェテリア・郵便局・ATM等が設置されています。

また、24時間保育所が国立大学医学部の中で、全国に先駆けてオープンし、女性の教職員がより一層働きやすくなりました。

学生寮

遠方から入学してくる学生のために山形市内に3つの学生寮があります。入寮の願い出の方法など詳細は合格通知の際にお知らせします。

寮名	定員	居室形態	寄宿料/月
清明寮	男子 213名 女子 87名	個室	18,000円
北辰寮	男子 80名	個室	4,300円
紫苑寮	女子 80名	個室	12,000円

※上記のほか、各寮の規則及び負担区分に関する基準により光熱水料を負担することになります。

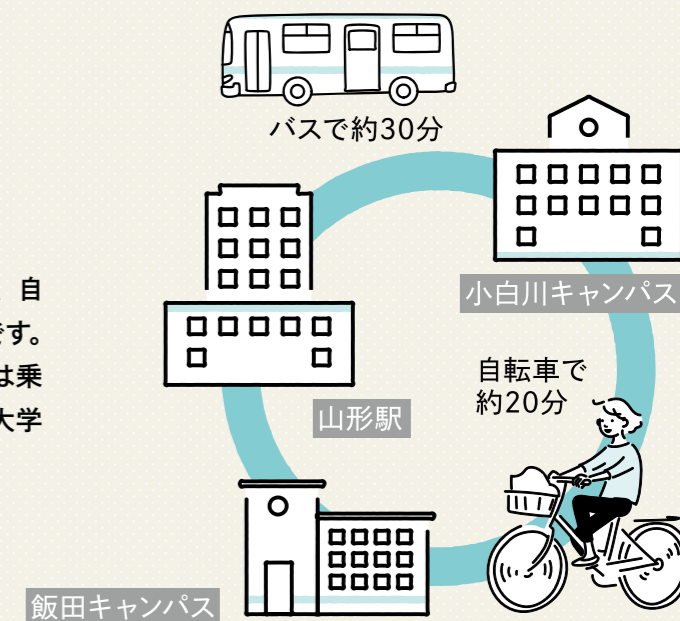
? 先輩教えて *Please tell me!*

Q アパート等に住む場合は、小白川キャンパス周辺と飯田キャンパスどちらがよいですか?

A 1年生のうち、多くの講義が小白川キャンパスですが、1週間に1回から2回、飯田キャンパスでの講義があります。2年生からは、すべて飯田キャンパスでの講義になるため、1年生のうちから飯田キャンパス周辺に居住する学生が多いです。

Q 小白川キャンパスと飯田キャンパスの間は、どうやって移動していますか?

A 小白川キャンパスと飯田キャンパスの間は、自転車やバスを使って移動する学生が多いです。自転車の場合は20分程度、バスの場合は乗り換え含めて30分程度かかります。なお大学には学生用の駐車場はありません。

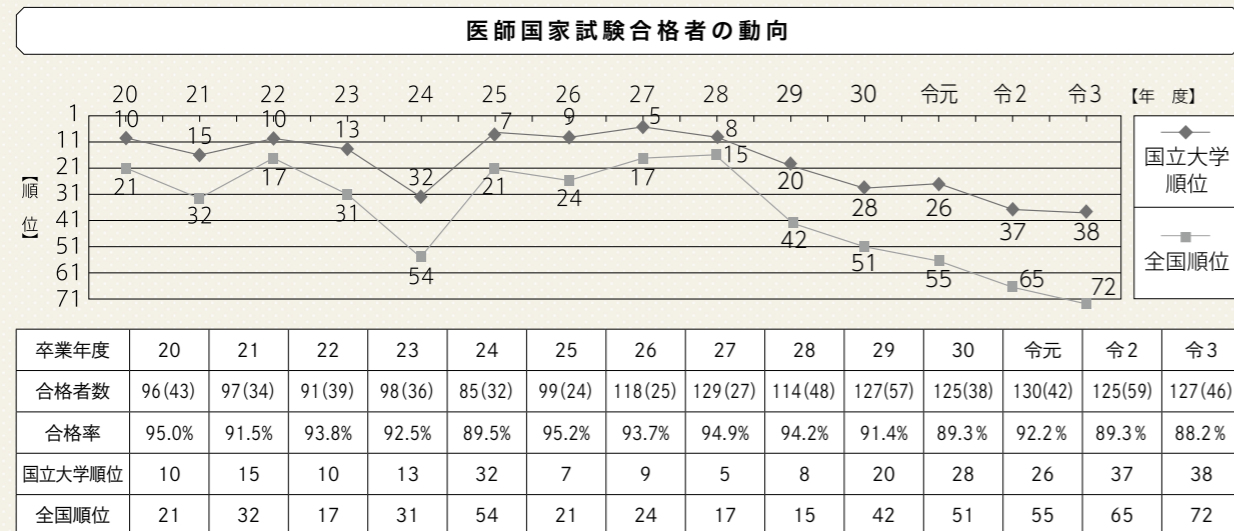


入学試験データ・医師国家試験データ

日程	入学定員	志願者			受験者			合格者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校推薦型選抜Ⅱ	25	58	55	113	58	55	113	16	9	25	16	9	25
一般選抜（前期）	73	219	167	386	178	147	325	46	28	74	44	25	69
一般選抜（後期）	15	181	88	269	64	34	98	15	6	21	13	6	19
私費外国人留学生入試	若干	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
計	113	458	311	769	300	237	537	77	44	121	73	40	113

年度	実施方式	募集人員	志願者数			倍率
			男	女	計	
平成 30	前期	75	200	132	332	4.4
	後期	15	110	55	165	11.0
平成 31	前期	75	167	115	282	3.8
	後期	15	146	63	209	13.9
令和 2	前期	65	153	117	270	4.2
	後期	15	123	69	192	12.8
令和 3	前期	73	138	103	241	3.3
	後期	15	95	52	147	9.8
令和 4	前期	73	219	167	386	5.3
	後期	15	181	88	269	17.9

年度	募集人員	男	女	合計	倍率
平成 30	30	69	71	140	4.7
平成 31	30	76	68	144	4.8
令和 2	25	49	54	103	4.1
令和 3	25	50	58	108	4.3
令和 4	25	58	55	113	4.5

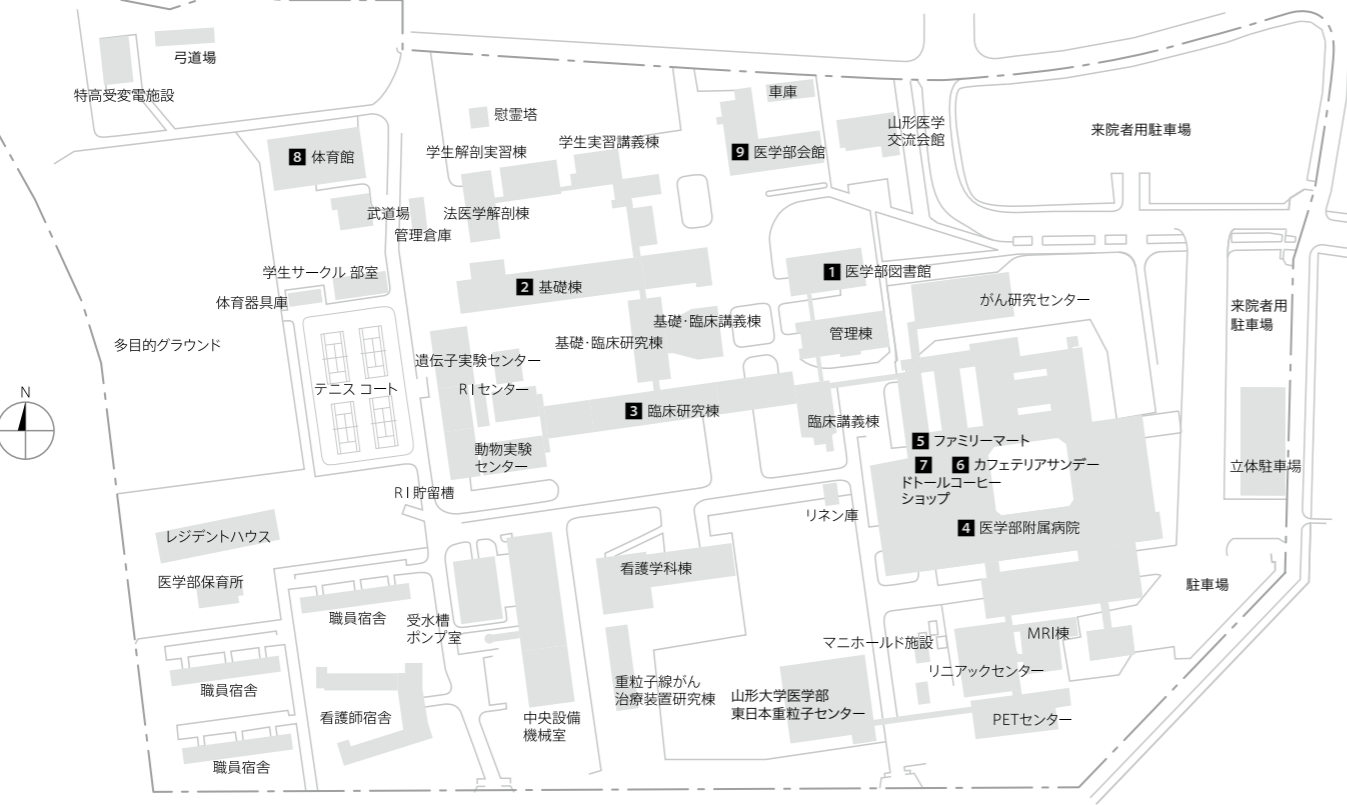


医学科学生の出身高校等

全国から優秀な学生が入学する山形大学医学部

- 北海道
 - 帯広柏葉／帯広三条／旭川東／岩見沢東／室蘭栄／札幌北／札幌南／札幌西／札幌東／札幌旭丘／釧路湖陵／北広島／北嶺／函館ウ・サール／札幌聖心女子学院／北見北斗／札幌光星／立命館慶祥
- 青森県
 - 青森／弘前／八戸／三本木／五所川原／八戸北／青森東／東奥義塾
- 岩手県
 - 盛岡第一／盛岡第三／盛岡北／花巻北／水沢／釜石南／盛岡白百合学園／一関第一
- 宮城県
 - 仙台第一／仙台第二／仙台南／佐沼／白石／宮城第一／第二女子／泉館山／仙台南／宮城野／仙台育英学園／東北学院／秀光／石巻／古川学園／築館／仙台二華／気仙沼／仙台第三／古川／仙台白百合学園／古川黎明／聖ウルスラ学院英智／仙台青陵
- 秋田県
 - 本荘／秋田／能代／横手
- 山形県
 - 山形東／山形南／山形西／山形中央／寒河江／新庄北／米沢興譲館／米沢東／長井／鶴岡南／酒田東／南陽／日本大学山形／羽黒／米沢中央／東桜学園
- 福島県
 - 福島(県立)／福島女子／安積／安積女子／安積黎明／白河／会津／磐城／磐城女子／相馬／橋／会津若松ザベリオ学園
- 茨城県
 - 水戸第一／土浦第一／土浦第二／竹園／茨城／清真正学園／江戸川学園取手／水戸葵陵／鹿島学園／下妻第一／牛久米進／水城／江戸川学園／茗溪学園／竜ヶ崎第一／日立第一／並木／第一学院(高荻校)／霞ヶ浦／常総学院／那珂
- 栃木県
 - 宇都宮／宇都宮女子／宇都宮東／石橋／栃木／足利／足利女子／大田原／國學院大学栃木／佐野日本大学／矢板東／栃木女子／作新学院／真岡／文星芸術大学附属／佐野／大田原女子／栃木翔南
- 群馬県
 - 前橋(県立)／前橋女子／高崎／高崎女子／桐生／中央／太田(県立)／桐生南／新島学園／沼田／渋川／太田(市立)／四ツ葉学園
- 埼玉県
 - 越谷北／大宮開成／関智／浦和(県立)／川越(県立)／川越女子／熊谷女子／春日部／春日部共栄／浦和第一女子／本庄東／栄東／秀明／西武学園文理／樹徳／浦和明の星女子／関智／大宮／芝浦工業大学柏／熊谷西／淑徳与野／昌平／和光国際／星野
- 千葉県
 - 柏(県立)／千葉(県立)／船橋(県立)／東葛飾／成田／市川／東邦大学付属東邦／渋谷教育学園幕張／千葉東／麗澤／暁星国際／志学館高等部／佐倉／長生／銚子(市立)／市原中央／匠達／木更津／国府台女子学院高等部／東京学園／稲毛／専修大学松戸／昭和学院秀英／芝浦工業大学柏
- 東京都
 - 筑波大学附属／お茶の水女子大学附属／東京学芸大学附属／国立／小山台／立川／戸山／東京都立大学附属／西／八王子東／日比谷／両国／暁星／女子学院／麻布／芝／頌栄女子学院／海城／成城／早稲田／渋谷教育学園渋谷／桜蔭／開成／攻玉社／足立学園／駒場東邦／世田谷学園／巣鴨／本郷／淑徳／立教女子学院／豊島岡女子学園／城北(私立)／武蔵(私立)／創価／桐朋／吉祥女子／国際基督教大学／明治大学付属中野八王子／南多摩／武蔵(都立)／共立女子／晃華学園／成蹊／小松川／駒場／白百合学園／晴友学園女子／穎明館／筑波大学附属駒場／学習院女子高等科／大妻／東洋英和女学院高等部／錦城／雙葉／中央大学附属(小金井市)／江戸川女子／東京電機大学／国学院大学大久保山／光塩女子学院高等科／新宿／田園調布雙葉／
- 富山県
 - 富士見／大泉／多摩大学附属聖ヶ丘／桜修館／帝京／九段／広尾学園／東京都市大学付属／聖徳学園／武蔵野大学高校／三田／小石川
- 神奈川県
 - 神奈川大学附属／横浜翠嵐／柏陽／瀬谷／横須賀(県立)／湘南／フェリス学院／横浜雙葉／聖光学院／関東学院／横浜緑ヶ丘／厚木／浅野／桐蔭学園／日本女子大学附属／栄光学園／清泉女子学院／多摩／サレジオ学院／川崎総合科学／山手学院／桐光学園／公文国際学園高等部／横浜共立学園／小田原／横浜国際／鎌倉女子学院／湘南工科大学附属／川和／森村学園高等部／相模原／逗子開成／鎌倉学園／慶應義塾／洗足学園／湘南学園／湘南白百合学園／横須賀学院／桜丘
- 新潟県
 - 新発田／新潟南／新潟明訓／村上／新潟／長岡／三条／高田／国際情報／新潟第一／燕／柏崎／佐渡／津南
- 富山県
 - 富山中
- 石川県
 - 金沢大学教育学部附属／羽咋／金沢錦丘
- 山梨県
 - 甲府南／甲陵／駿台甲府／吉田／甲府第一
- 長野県
 - 伊那北／長野(県立)／上田／諏訪清陵／松本深志／佐久長聖／飯田
- 岐阜県
 - 可児／斐太／岐阜北／加茂／岐阜／恵那／鶯谷
- 静岡県
 - 清水東／静岡／榛原／袋井／沼津東／浜松北／浜松西／不二聖心女子学院／浜松日体／富士／浜松学芸／加藤学園暁秀
- 愛知県
 - 明和／瑞陵／岡崎／時習館／成章／高蔵寺／東海／南山／滝／春日丘／旭丘／刈谷北／岡崎北／千種／旭野／向陽／西尾／一宮／名古屋／国府／金城学院／横須賀／名古屋大学教育学部附属／名東
- 三重県
 - 四日市／暁／桑名／木本／津／伊勢／川越
- 滋賀県
 - 膳所
- 京都府
 - 大谷／洛星／洛南
- 大阪府
 - 大阪教育大学附属池田／天王寺／明星／大谷／清風／高槻／四天王寺／茨木／大阪教育大学附属天王寺／開明／四條畷／生野／高津／住吉／三国丘／大阪桐蔭／大阪教育大学附属平野／豊中／関西大学高等部／大手前
- 兵庫県
 - 須磨学園／北摂三田／神戸／白陵／兵庫／灘／加古川東／甲陽学院／宝塚北
- 奈良県
 - 東大寺学園／西大和学園／智辯学園奈良カレッジ高等部／帝塚山
- 和歌山県
 - 智辯学園和歌山／桐蔭
- 鳥取県
 - 米子東
- 島根県
 - 松江北
- 岡山県
 - 金光学園／倉敷青陵／岡山城東／岡山吉泉／岡山白陵／岡山操山
- 広島県
 - 広島学院／近畿大学附属福山／広島大学附属／広島／AICJ
- 徳島県
 - 城東／徳島市立／徳島文理
- 香川県
 - 高松
- 愛媛県
 - 愛光
- 高知県
 - 土佐
- 福岡県
 - 久留米大学附設／小倉／福岡／明善／筑紫女学園／筑紫丘／修猷館
- 佐賀県
 - 弘学館／東明館
- 長崎県
 - 青雲／長崎西／佐世保西
- 熊本県
 - 真和
- 大分県
 - 大分東明
- 宮崎県
 - 都城泉ヶ丘
- 鹿児島県
 - 鶴丸／池田学園池田／ラ・サール
- 沖縄県
 - 開邦／沖縄尚学／昭和薬科大学附属／那覇

キャンパスマップ



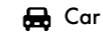
ACCESS



山形駅 タクシー (約10分) 山形大学医学部



山形駅【山形駅前】 「大学病院・東海大山形高」行きバス (約15分) 大学病院下車
 仙台 高速バス (約1時間) 山形駅【山形駅前】
 山形空港 山形空港シャトル (約35分) 山形駅【山形駅前】



浦和IC 東北自動車道 (3時間10分) 村田JCT 山形自動車道 (約30分) 山形蔵王IC (約15分) 山形大学医学部



東京駅 山形新幹線 (約2時間50分) 山形駅



新千歳空港【北海道】 (約1時間15分) 山形空港
 羽田空港【東京】 (約1時間) 山形空港
 名古屋空港【愛知】 (約1時間) 山形空港
 伊丹空港【大阪】 (約1時間15分) 山形空港

※各種公共交通機関はダイヤが変動する場合がありますので、最新情報をご確認ください。





山形大学 医学部

<https://www2.id.yamagata-u.ac.jp/>



山形大学 医学部 学務課 (入試担当)

〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2

TEL 023-628-5049

FAX 023-628-5058

E-mail igagakuso@yu-jm.kj.yamagata-u.ac.jp

自分らしく 輝ける未来へ

YAMAGATA UNIVERSITY
FACULTY OF MEDICINE
DEPARTMENT OF NURSING

2023

山形大学 医学部 看護学科ガイド

人間愛に根ざした 看護をめざして

いのちを尊び、患者に寄り添う「看護」の道。

大切なのは、人を慈しむところ。

山形大学医学部看護学科は、

誠実で豊かな人間性と

確かな知識・技術を備えた

看護師・保健師・助産師を育成します。

Contents

- 02 学部長・学科長あいさつ
- 03 病院長・看護部長あいさつ
- 04 プロフェッショナルへの道
 - 06 取得資格と卒業後の進路
 - 08 山形大学医学部看護学科ならではの学び
- 12 1年次
- 14 2年次
- 16 3年次
- 18 4年次
- 20 キャンパスライフ
- 21 専門性の高い講座
- 22 活躍する卒業生
- 24 サークル活動に夢中！
- 26 入学試験情報・
インフォメーション
- 28 キャンパスマップ
- 29 ACCESS



病める人に寄り添う医療を実践する看護職の育成を最大のミッションとしている山形大学医学部看護学科

近代看護の発展に大きく寄与したのはナイチンゲール女史とされており、その根底にある「病める人に寄り添う」という姿勢は時代を超越して看護に必須のものであり続けています。そして、この「根幹」は私たち山形大学医学部看護学科が大切に抱えているものでもあります。

それでも社会環境の変化により、その時代に合わせた方法で看護を実践しなければなりません。例えば100年前でしたら、自宅で亡くられる方が多かったのが、現在では核家族化などの社会変化により病院や施設で亡くられる方が多くなっています。そして近い将来「団塊の世代」という大きな集団が高齢期になるにつれて利用可能な病床の数と世代人口のミスマッチが生じるために、必然的に自宅でケアを受けなくてはならない人々が増加することが予想されています。実際、自宅を中心とした在宅ケアは今後の医療で大きなテーマですが、まだまだそれを受け入れる社会の体制は十分ではありません。いずれにせよ、病院でのケア・在宅ケアのどちらでも大切なのは「病める人に寄り添う」姿勢です。そして看護職の皆さんはその中で中心的な役割を果たします。

現在の医療はご承知のように「チーム医療」で行われています。そこでは医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャーなど多職種の人が集まり、それぞれのプロフェッショナルを背景とした知識・技術を集めて患者さんのケアを行います。その場では、お互いの職種に対する尊敬と理解が前提となっていて、真剣に一人一人の患者さんに対して向き合おうのです。本学科ではこのようなプロフェッショナルなチーム医療で中心的な役割を果たすことを実践できる看護職の育成を行っています。

そのために教育システムでもさまざまな工夫を凝らしています。例えばチーム医療の実践を身につけるために、山形県内で唯一の特定機能病院である山形大学医学部附属病院で医師・薬剤師・看護師などの他職種と一緒にチーム医療の現場で学ぶスチューデントナース制度を全国に先駆けて取り入れています。これにより、最先端の医療だけでなく、それを実践するための考え方も身につけることができます。また、実地実習の前提となる看護学の知識についても未来の看護師の育成に情熱を持つ教員によって、しっかりとした基盤的知識を身につけることができます。また学びの場である飯田キャンパスは緑に囲まれた閑静な勉学に最適な環境となっています。また多くの医学科の学生と共に行うサークル活動も学生生活に豊かな彩りを与えてくれるもので、看護学科の学生も熱心に活動しています。

このように山形大学医学部看護学科では未来の日本の医療を支える看護職を学ぶには最適な環境です。ぜひ皆様も私も山形大学医学部看護学科で自身の根幹となるプロフェッショナリズムを学び、未来の医療の中心を担う存在に育っていただきたいと思えます。



山形大学医学部看護学科で看護の未来を拓く

山形大学医学部看護学科は、平成5年に東北・北海道で最初に開学した看護系大学です。平成9年には大学院として修士前期課程が設置され、平成19年には国立大学法人として全国6番目となる看護学の博士号が取得できる博士後期課程が設置されました。さらに、小児および老人看護などの専門看護師(CNS)教育課程や国立大学法人初となるナース・プラクティショナーを育成する高度実践看護師教育課程を設置しています。本学の卒業生は、主に看護師、保健師、助産師、養護教諭、大学教員などを中心に幅広い職種で山形県内をはじめ全国各地で、あるいは海外で活躍しています。

本学看護学科における教育の特色は、優秀な教員と恵まれた教育環境の下で、医学科および医学部附属病院看護部と密接に連携した教育体制により、最高水準の看護学教育を提供していることです。看護に携わる者は、人体構造や生命現象に習熟した上で、疾病の成り立ちや対応を良く理解しておく必要があります。疾病教育では、主に医学科教員により看護実践および多職種協働に欠かせない重要な医学知識が教授され、学生からも授業に対する高い満足度と支持を得ています。看護学教育の中でもとりわけ臨床実習は、看護に必要な知識・技能・協働・倫理を統合して学ぶ大変重要な科目と位置づけています。本学の実習は、全国で初めてスチューデントナース制度を取り入れ、最先端の医療を志向する医学部附属病院で看護部と連携して行います。看護学科と附属病院看護部では、教育の質の改善・向上を目的に人事交流を行い、定期的に会合を重ねて教育内容の点検と更新を随時行っています。そして何よりも教育者は学生一人一人に目を向け丁寧に指導することを大切にしています。また学生は大学生活の中で、勉強や生活、進路などを含めて、様々な悩みや困難に直面することがあります。山形大学医学部看護学科では、学生一人一人を支援する体制を整え、きめ細かな対応を行っています。

医療・社会福祉を中核として様々な社会構造の変革が、少子高齢社会の加速に対応すべく進んでいます。また医療技術や治療法は日進月歩の先端医療の時代です。これからの医療の変革と進歩は人々の未来を変えていきます。日本の将来の医療を支え、安全で質の高い医療の担い手となる看護職への期待は増々高まっています。山形大学医学部看護学科は看護への情熱と意欲がある皆さんを心から歓迎します。



看護師になるための最高レベルの教育環境を提供

看護師になるためには、患者さんにご協力いただきながら行う病院実習が不可欠であることは想像に難くないと思います。ここでは、看護師を志している皆さんに、その実習の舞台となる医学部附属病院をご紹介しますと思います。

山形大学医学部附属病院は、1976年に新設医科大学、医学部の第一期校の附属病院として診療を開始し、山形県で唯一の特定機能病院です。特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた病院として国から認められた病院です。

附属病院の診療体制の大きな特徴として、臓器横断的なチーム医療の推進があげられます。附属病院の病棟は、臓器別にセンター化され、例えば心血管病の診療は、循環器内科と心臓血管外科が協力して「循環器病センター」で行なっています。このシステムにより、高度な知識、技術を患者さんに集中的に提供することができます。また、全国に先駆けて開始したがんセンター・トリートメントボード(がん治療会議)は、放射線治療やがん化学療法、緩和医療の専門医、内科医、外科医、薬剤師、看護師などが一堂に会して、個々の患者さんの治療方針について総合的に検討する場で、集学的がん治療のモデルとなっています。

また当院は、山形県の医療の最後の砦として、県内で最も進んだ医療機器を導入し先進医療を提供しています。特に2021年2月に稼働した重粒子線がん治療装置は、山形大学医学部が装置の設計段階から関与し、高レベルの省エネルギー・省スペースを達成した世界最先端の装置で、北海道・東北だけでなく、日本の中核的な重粒子治療センターとして期待されています。また、2019年、当院は、がんゲノム医療を行う全国34のがんゲノム医療拠点病院の一つに指定されました。がんゲノム医療とは、患者さんのがんの遺伝子異常を調べ、そのがんにも最適な治療を行う個別化医療です。当院は、今後、このがんゲノム医療を推進すると共に、がん以外の疾患も対象としたゲノム医療の体制整備を進めています。その他にもAIやロボティクス、バーチャルリアリティを活用した最先端のリハビリテーション機器を活用して、急性期からの積極的なリハビリテーションを行い「入院した時より元気になって退院できる「元氣増進退院」」を目標に掲げています。

以上のような医療を支える山形大学医学部附属病院のスタッフは、学生や若手医療人の教育にも熱心に取り組んでいます。高度な診療水準は、取りも直さず優れた教育環境の提供に直結しています。さらに山形大学医学部の特徴として、看護学科と附属病院看護部との交流が盛んに行なわれていることが挙げられます。このことにより看護学科で教育する内容と現場で行われている看護とのギャップをなくすことが可能で、より実践に近い教育が行われています。全国から看護師を目指す多くの皆さんが、ここ山形の地で研鑽を積み、活躍されることを願っています。



患者さんの期待に沿う“看護のこころと技”を培う

看護の対象は、あらゆる健康レベルの全ての人々です。私たち看護職の使命は、病氣から早く回復してその人が望む暮らしの場へ帰すこと、また、地域住民が健やかな人生を歩み続けられるように心身の健康を守ることです。ひとの命と生活をあずかる看護という仕事に責任を感じると共に、誰かの命と、喜びや安心を守ることができる尊さ、対象の様々な可能性に触れ、感動とやりがいを感じることができる看護を誇らしく、価値のある仕事だと思います。

このやりがいや感動は、どこで誰と出会うかによって大きく変わってきます。つまり、「看護の第一歩をどこでスタートするか」です。看護を学ぶうえでとても大切な授業が「実習」です。実習では、大学内で学んだ看護に必要な知識と技術を実際に患者さんへ提供します。提供した看護に対する患者さんの身体的反応や思いを振り返り、知識を「経験」に換え、経験は看護の学びを深めるために重要な機会になります。同時に、看護職としての自身の将来をイメージできる時間でもあります。つまり、この経験が積める実習をどこでするかがとても大切だと思います。

山形大学医学部看護学科の病院実習は、殆どの時間を山形大学医学部附属病院で行われています。山形大学医学部附属病院は、特定機能病院として高度急性期、先進医療を提供している県内唯一の大学病院です。診療・教育・研究を使命とする大学病院での一翼を担う看護師は、患者さんそれぞれにとっての最善の看護を提供することを大切にしています。患者さんにとって「何故それは必要か」「そもそもそれが必要な理由は何か」といった、根拠に基づいた実践と、専門職としての高い倫理観をもって患者中心の看護提供を目的として、看護師一人ひとりが確かな知識と技術の提供を追求しています。その根底には、患者さん個々の生活環境を整え自然治癒力を助けるという、ナイチンゲールの言う「看護の本質」を理解した実践があります。そして、この姿勢と実践を後輩育成にも繋げています。医学部看護学科と附属病院看護部は、学生の成長を手助けする効果的な教育環境の提供を目指して、長年にわたって定期的な話し合いや交流が行われています。また、山形大学医学部看護学科卒業の先輩もたくさんいます。先輩達の看護や経験に触れながら、安心して一緒に学び成長できる環境が、ここにはあります。

医療の進歩はめざましく人々のニーズも多様性を増し、看護職に求められる役割と期待は益々大きくなっています。「看護とは何か」を追求し、社会の期待に応えられる看護職を目指し、山形大学医学部看護学科、山形大学医学部附属病院で看護の道の第一歩を踏み出してほしいと願っています。あなたの思い描く看護と夢の実現を応援します。

プロフェッショナルへの道

広がる活躍の場

教育の理念

生命の尊厳と人権の擁護を重んずる誠実で豊かな人間性を備え、保健・医療・福祉に関わる人々と協働して、根拠に基づく安全な看護を提供できると共に、社会と人々の生活の変化を敏感に捉え、看護の役割・機能・責務について必要に応じた変革を実行できる看護職者を育成する。

教育の目標

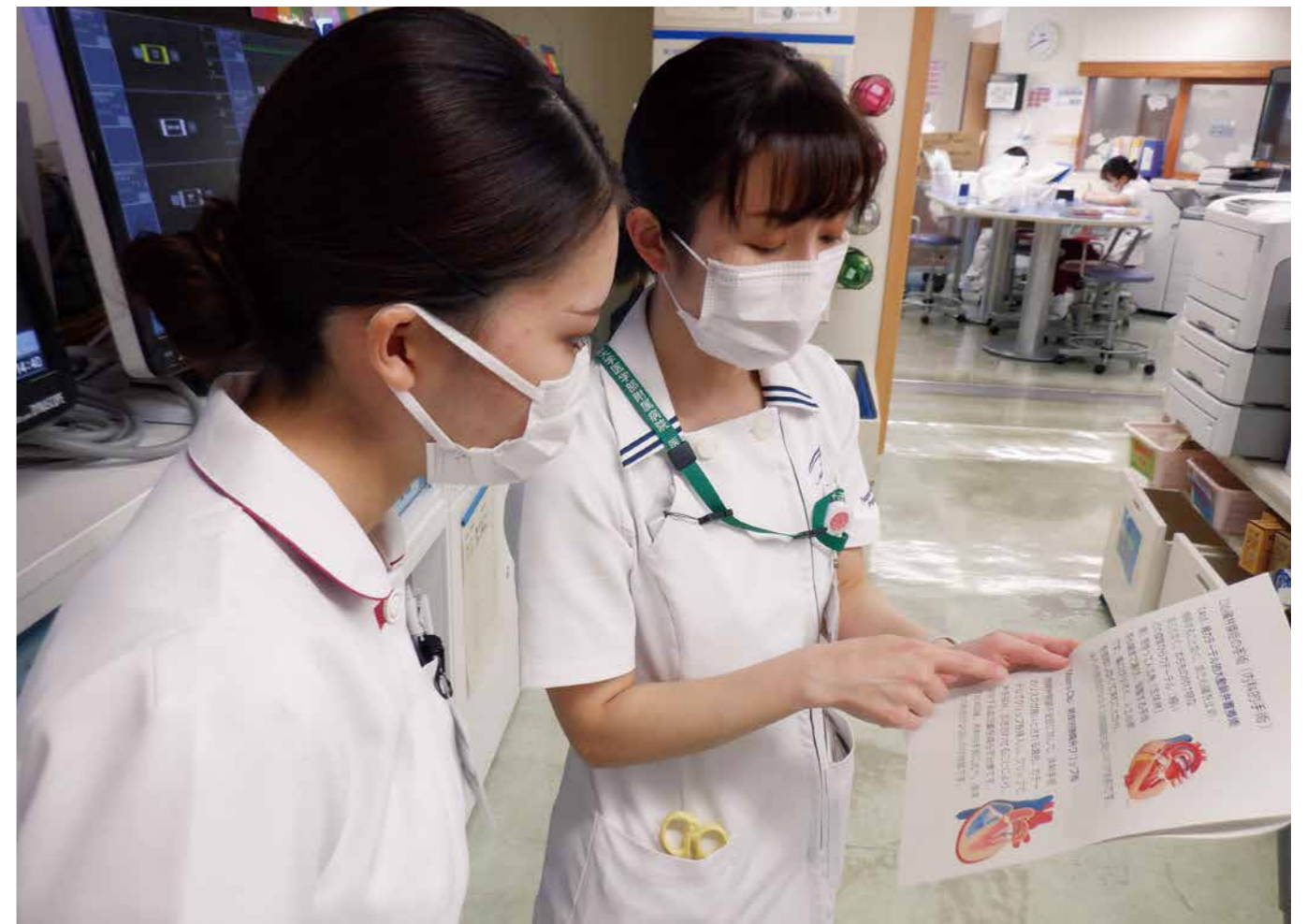
1. 生命の尊厳と人間としての権利を重んじ、看護サービスを受ける人々を常に擁護する立場にたち、その人らしい生活を支援する看護を提供できる人材を育成する。
2. 一社会人として信頼される社会性と倫理的感性を備え、誠実で豊かな人間性を涵養する。
3. 専門的知識と確かな技術に裏打ちされた安全な看護を提供でき、提供した看護について適正に評価できる看護実践能力を備えた人材を育成する。
4. 保健・医療・福祉に関わる人々と協働して、組織的に問題解決をはかるためのチームワークとマネジメント力を備え、必要に応じて当該チームのリーダーとして活躍できる人材を育成する。
5. 国内外における社会と人々の生活の変化に関心を持ち、変化に対応する看護の役割、機能、責務を理解し、必要に応じた変革を実行できる人材を育成する。
6. 科学的思考力と創造力を持ち、生涯にわたり自己研鑽ができる人材を育成する。

アドミッションポリシー

1. 人々の健康と福祉に強い関心を持ち、科学的に追求する姿勢と持続的な学習意欲を持つ人
2. 心身ともに健康で、誠実で高い倫理性を持つ人
3. 他人への思いやりと円滑な人間関係を形成できるコミュニケーション能力を持つ人
4. 看護職として保健・医療・福祉に貢献することへの強い意志を持つ人

沿革

昭和 48 年 9 月	山形大学医学部設置
平成 5 年 4 月	山形大学医学部看護学科設置（全国で 21 番目）
平成 9 年 3 月	山形大学医学部看護学科第 1 期生卒業
平成 9 年 4 月	山形大学医学部医学系研究科看護学専攻（修士課程）設置
平成 11 年 3 月	山形大学医学部医学系研究科看護学専攻第 1 期生修了
平成 12 年 4 月	専門看護師教育課程認定（小児看護・精神看護）
平成 19 年 4 月	山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程設置
平成 20 年 4 月	専門看護師教育課程認定（老人看護）
平成 21 年 4 月	専門看護師教育課程認定（在宅看護）
平成 24 年 4 月	助産師コース設置
平成 29 年 4 月	ナースプラクティショナー教育課程（プライマリケア看護）認定 特定行為研修指定研修機関の指定



取得資格と卒業後の進路

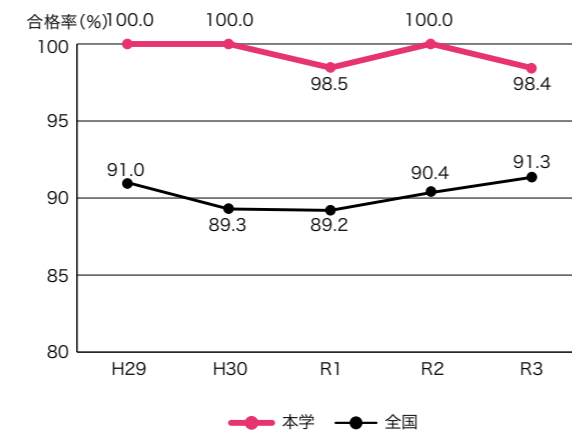
取得可能な資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格
- 助産師国家試験受験資格

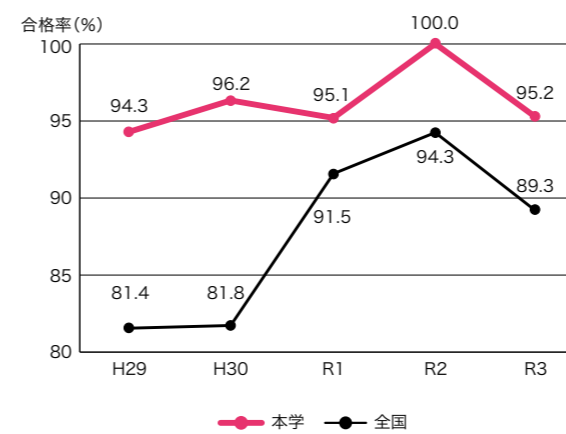
※保健師国家試験受験資格及び助産師国家試験受験資格を得るためには、それぞれ保健師コースまたは助産師コース(選抜試験がある)の課程を修了することが必要(どちらか一方のみ取得可能)。

圧倒的に高い国家試験合格率

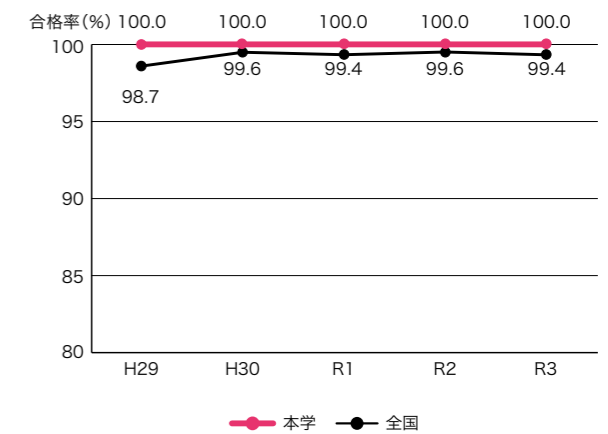
看護師国家試験合格率の動向



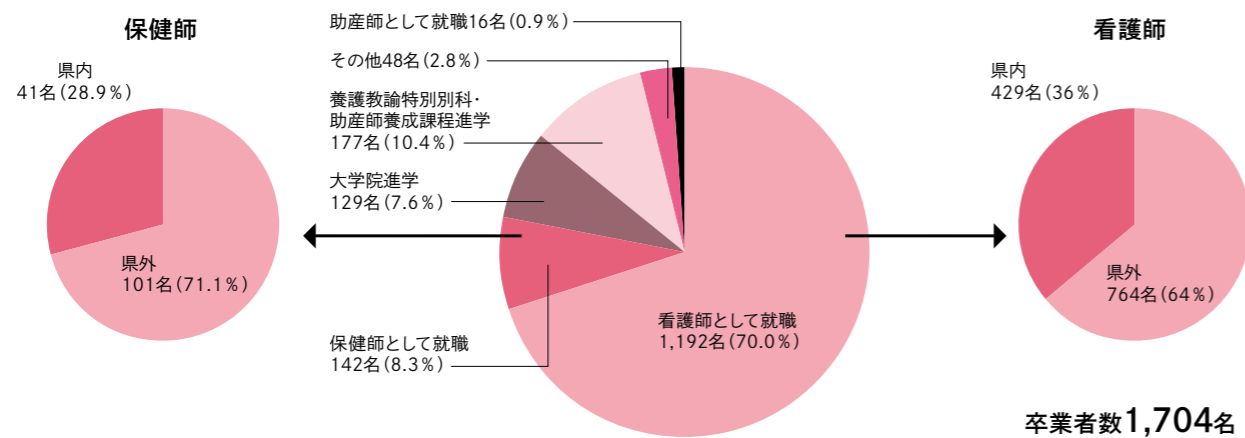
保健師国家試験合格率の動向



助産師国家試験合格率の動向



希望する機関への就職・進学率 100%



大きく開かれた多様なキャリアパス



看護学科卒業生の大学教員キャリアパス (修士修了者含む)

職位	人数	主な大学
教授	23名	山形大学、弘前大学、神戸大学、宮城大学、東北福祉大学、福島県立医科大学、山形県立保健医療大学、京都府立医科大学 他
准教授	28名	山形大学、東北大学、名古屋大学、山形県立保健医療大学 他
講師	42名	山形大学、自治医科大学、岩手医科大学 他
助教	26名	山形大学、宮城大学、筑波大学、兵庫県立看護大学 他
計	119名	

就職先一覧 (主な就職先)

看護師	【県内】	山形大学医学部附属病院、山形県立病院、日本海総合病院
	【東北】	東北大学病院、東北医科薬科大学病院、仙台市立病院、宮城県立こども病院
	【関東】	虎ノ門病院、東京大学医学部附属病院
保健師	【県内】	山形県、山形市、上山市
	【県外】	宮城県、仙台市、川崎市
助産師		山形済生病院
進学		山形大学大学院医学系研究科看護学専攻
		山形大学養護教諭特別科

山形大学医学部附属病院へ就職した卒業生の活躍

看護学科卒業生 (修士修了者含む)	
	人数
管理職	
看護副部長	1名
師長	8名
副師長	15名
スペシャリスト	
専門看護師	7名
認定看護師	13名
大学院在籍	
博士前期・後期	12名

大学院への進学モデル ~看護と介護の質的向上を総合的に促進できる人材を育成~



山形大学医学部看護学科ならではの学び

看護教育の質を保証する全国初のStudent Nurse制度の導入

山形大学医学部看護学科では、「Student Nurse 制度」を導入しています。これは、看護学生を「Student Nurse」と認定し、領域別臨床実習において学生が積極的に看護行為と知識や技術を結び学ぶことができるようにする制度です。看護学生としての自覚、医療に携わる人間としての責任感や使命感を再認識させ、社会及び患者に対し、看護学生であっても「Student Nurse」として一定レベルの知識と技量を有していることを示すことで、その者の看護行為を大学が保証することを目的としています。



完成度の高い卒業研究 4年間の総仕上げと卒業後も生かせる研究能力

看護学科では、4年生になると看護研究に取り組み、研究する能力や発表する能力を養います。基礎看護、臨床看護、地域看護の各分野の中でそれぞれが関心を持っている領域の研究室に入り看護研究を行います。研究は調査研究・実験研究・介入研究などテーマに合わせた研究方法を決めて、データを取り、分析していきます。約一年ほどかけて、一人一編の卒業論文を完成させています。ここでまとめた看護研究は、北日本看護学会や山形県公衆衛生学会など学外の学会でも発表できるほどの完成度です。学内においても毎年二日間に亘り、看護研究発表会を行います。自分の研究成果を報告し、ほかの学生の研究を聞きながら意見を出し合うことで、新たな発見や今後の研究にもつながります。



最新の高度な医療サービスを提供している 附属病院での高水準な実習環境

病院実習は同じ敷地内にある山形大学医学部附属病院で行います。診療水準の高度化に大きく貢献している全国トップクラスの病院です。

さらに、認定看護師保有率は国立大学附属病院の中で高い水準を維持しています。皮膚・排泄ケア4名、がん化学療法看護4名、感染管理4名、集中ケア2名など20領域38名が活躍しています。



現場で使える英語力の強化と 研究マインドの育成

山形大学医学部看護学科では、国内外における社会と人々の生活の変化に関心を持ち、看護実践や研究に必要な英語力を向上させる取り組みをしています。英語の講義ではタブレット端末を用いた授業を導入しています。



探求的、創造的思考を身につけ、保健・医療の専門職者として必要な学習課題や目標を自ら設定し、常に課題の克服や目標達成に取り組むことができるよう、看護の研究を行っています。研究マインドと共に問題解決能力の育成にもつながります。

看護をリードできる 質の高い看護の実践能力を育む教育コース

地域で生活する人々の健康と生活を支援する看護実践能力を養い、自立して行動できる保健師を育成する「保健師コース」と、女性の性と生殖に関わる権利を中心に学び、助産診断と実践能力を養い、女性に寄り添うことができる助産師を育成する「助産師コース」があります。

保健師コース

地域の健康課題に対応できる実践能力の育成

保健師は、地域に住む様々な年代の個人と家族、集団・組織、人々が生活する地域にも目を向け、人々の健康を保持・増進し、疾病・障害・不健康を予防し、生活の質の向上を支援する公衆衛生看護を担う看護職です。保健師コースでは、公衆衛生看護学を基盤に、乳幼児から高齢者まで地域で生活する幅広い年齢層の人々を対象に、疾病や障害のある人々の健康の回復だけでなく健康な人々も含めた地域で生活するすべての人々の健康と生活を支援する看護を学びます。

具体的には、地域診断、健康診査、健康相談、健康教育、保健指導、家庭訪問、保健事業の企画・実施・評価、地域組織活動・自主グループ支援の公衆衛生看護活動に関して、講義と演習、実習を統合して学びます。4年次には、保健師の活動の拠点となる行政機関の保健所・市町村、学校、事業所において公衆衛生看護活動の実習を経験し、卒業までに保健師の基盤となる実践能力を修得します。



助産師コース

ハイリスク妊産婦・新生児医療に対応できる実践能力の育成

助産師は、妊娠や出産に携わるだけでなく、思春期から老年期までの女性に関わる職業でもあり、性教育、不妊相談、家族計画、更年期への支援といった様々な分野で医師や保健師、臨床心理士、栄養士などの多職種と連携して活動している看護職です。

助産師コースでは、ハイリスク妊産婦・新生児事例にも対応できる助産診断能力と安全な分娩が行える技術を習得します。また、女性が妊娠・出産・育児に主体的にのぞむことができる支援について学びます。さらに女性の性と生殖の権利を中心とする助産師の役割と専門的自律能力について学びます。平成24年に助産師コースが設置されてから現在まで、本学の助産師国家試験合格率は100%です。

本学では、超音波診断法や縫合術、新生児蘇生法など、高度な助産診断技術や緊急事態への対応を学ぶことができます。また、助産学実習前には分娩介助技術の質を担保するため、臨床実習指導者が評価する客観的臨床能力試験 (OSCE: Objective Structured Clinical Examination) を行っています。助産学実習では、分娩介助を経験するほかに、妊産婦とその家族を対象とした保健教育の運営、妊娠からの継続支援を実践しています。



助産学・母性看護学
藤田 愛 准教授

助産師は、出産だけでなく女性の健康を支援していく専門職です。近年は、性感染症、女性特有のがん（子宮がんや乳がん）、不妊症に対し助産師も積極的にかかわることが求められています。本学では、高度な助産診断学を学び自ら判断し実践できる、自立した助産師の育成をしています。

1年次

基盤共通教育ならびに専門基礎科目、専門科目の修得

1年次では、学生が知識・技能や課題探求能力を確実に修得できる「基盤共通教育」を導入し、小白川キャンパスで学士課程の基礎を重点的に学びます。さらに、飯田キャンパスでは看護学の専門基礎科目と専門科目を学び始め、看護学の基礎的知識を修得します。

基盤共通教育科目

導入科目
学びのイメージを確立し、学習スキルを修得する

導入科目は、「スタートアップセミナー」と「学部導入セミナー」が開講されます。スタートアップセミナーは、大学での主体的な学修にスムーズに適応できるよう、プレゼンテーションやグループワーク、レポートの書き方、調査・情報収集の方法など主体的・能動的な学修のために必要な技法を修得するための授業です。また「学部導入セミナー」は、学部教育への導入として学部における研究・教育内容等を学び、大学での学習イメージを確立するための授業です。

基幹科目
「人間」「共生」「山形」を考え、学問のおもしろさに迫る

山形大学生が共通に身につけるべき素養を修得することを目的として、山形大学が教育上、特に重視している「人間」「共生」「山形」をテーマとして、学問への問題意識を醸成します。
人間を考える・共生を考える：
文化遺産とはなにか、宇宙観、人権と共生 etc
山形から考える：
地域の知恵と科学の力でエコ社会創りetc

教養科目
学問の多様性を知り、知識の幅を広げる

学部・学科や専門分野に関係なく、幅広い学問分野に接し、学ぶことで、広く文化や社会、自然に対する視野を広げます。学問の多様性が体験でき、知識の幅も広がります。「文化と社会」、「自然と科学」、「応用と学際」をテーマとし、各自の学習意欲に応じて自由に科目を選択して学びます。
文化と社会：
日本国憲法、哲学ってどんなこと? etc
自然と科学：
一般生物学、化学変化を考える etc
応用と学際：
みずから学ぶ etc

共通科目
学問の実践に役立つ知識や能力を修得する

学問の実践において必要な知識や能力、またそれを根底から支える健康や体力を身につけます。これらは、卒業後の社会人としての生活にも必須のスキルで、生涯にわたり役立ちます。「コミュニケーション・スキル」、「情報科学」、「健康・スポーツ」、「サイエンス・スキル」、「キャリアデザイン」の5テーマから学びます。
コミュニケーション・スキル：
英語、ドイツ語、フランス語 etc
情報科学：情報処理
健康・スポーツ：
フィットネス、バスケットボール、テニス etc
キャリアデザイン：自己理解 etc

1年次の週間予定の例

月曜日

基盤共通教育(小白川キャンパス)

火曜日

水曜日

専門基礎科目,
専門科目(飯田キャンパス)

木曜日

基盤共通教育(小白川キャンパス)

金曜日

専門基礎科目

人体構造学

人体機能学

臨床心理学

看護生化学

看護感染症学



櫻田香教授 人体機能学など担当

専門科目

看護学概論



布施淳子教授 看護学概論など担当



先輩からのメッセージ



〈小松結彩さん 仙台育英学園高等学校〉

新しい出会いと新しい生活

1年次は、主に小白川キャンパスで基盤共通科目を学びます。自分が学びたい講義を選択して自分だけのスケジュールで学習することができます。また、専門科目では、看護の基礎をしっかりと学ぶことができます。山形大学の先生方はわからないことや不安なことがあれば必ず親身になって相談に乗ってくださるため、私自身楽しく大学生活を送ることができています。

放課後や休日はサークルやバイト、友人とカフェ巡りなど各々が充実した時間を過ごすことができます。サークル活動では飯田キャンパスのサークルだけでなく小白川キャンパスのサークルにも参加することができるため学部学年関係なく交流を深めることができます。

試験期間は大変なこともありますが、山形大学に入学し新しく出会えた友人と楽しく充実した時間を過ごしています。

2年次

専門基礎科目ならびに専門科目の修得 臨地実習の開始

2年次からは、医学部と附属病院のある飯田キャンパスで、専門基礎科目と専門科目の本格的な履修が開始となります。また後半には、初めての臨地実習が開始となり、臨床で医療の現場を体験していきます。

専門基礎科目

看護薬理学

人間工学

病態生理学

遺伝科学

看護病理学

疾病論

看護放射線学

医療保健福祉論

保健情報論

疫学

環境保健学

看護統計学

専門科目

基礎看護学

生活援助論
基礎看護方法
フィジカルアセスメント

成人看護学

成人看護学概論

高齢者看護学

高齢者看護学概論

精神看護学

精神看護学概論

小児看護学

小児看護学概論
小児の発達と健康

母性看護学

母性看護学概論

在宅看護学

在宅看護学概論
家族援助論



齋藤貴史 教授 疾病論など担当



佐藤幸子 教授 小児看護学概論など担当

臨地実習

基礎看護学実習

飯田キャンパスと小白川キャンパス

1年次の授業は、小白川キャンパス(基盤共通教育科目)と飯田キャンパス(医学基礎教育科目・専門教育科目)で開講されることから、曜日により通学するキャンパスが異なりますが、2年次からは毎日飯田キャンパスに通学することになります。

小白川キャンパスは、全学部の1年次生と、人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部の全学生が勉学に励む山形大学のメインキャンパスです。サークル活動などを通して様々な学部の学生と出会い、共に励むことで、充実した学生生活を送ることができるでしょう。

医学部の拠点である飯田キャンパスには、医学科と看護学科のほか、県内最大規模の病院である医学部附属病院があります。医師、看護師、病院スタッフなどたくさんの人が行き交うキャンパスには、医学部独特の雰囲気があり、自分が目指している世界を常に感じつつ、同じ志を持つ仲間達と勉学に励んでいます。



先輩からのメッセージ



〈佐藤美月さん 山形県立米沢興譲館高等学校〉

看護について より追求できる学校生活

2年次では様々な領域から看護について学び、後期には初めての実習があります。たくさんの試験や初めての实習は大変ですが、先生方の手厚い指導や仲間との教え合いにより充実した学校生活を送ることができます。学習において先生方は勿論、附属病院に所属されている医師や認定看護師など多くの実践を重ねてきた方々から学ぶことができるので恵まれた環境だと感じています。また質問や学校生活における悩みなどをすぐ先生方に相談できるようになっているので安心して学習することができます。

1年次に比べて試験や実習などで忙しく感じますが、休日や空いている時間には友人とご飯を食べに行ったりアルバイトをしたりと楽しく過ごすことができます。

3年次

専門科目の修得 専門領域の臨地実習 保健師・助産師コースの専門科目開始

3年次では、看護学の各専門領域における特徴や方法を学びます。臨地実習前に、客観的実践能力を評価し、Student Nurseの認証を受けて、専門領域の実習が開始となります。さらに、保健師コースの選択、助産師コースの選抜を経て、保健師コースと助産師コースの専門科目が開始となります。

専門科目

基礎看護学

リスクマネジメント

成人看護学

成人急性期看護方法
成人慢性期看護方法
緩和ケア論
クリティカルケア論

高齢者看護学

高齢者の疾病と障害
高齢者・リハビリテーション看護方法

精神看護学

精神の健康と保健
精神看護方法

小児看護学

小児看護方法

母性看護学

母性の健康と保健
母性看護方法

在宅看護学

在宅看護方法

公衆衛生看護学

公衆衛生看護学概論

統合科目

看護研究入門

臨地実習

成人急性期看護学実習
成人慢性期看護学実習
高齢者看護学実習
精神看護学実習

小児看護学実習
母性看護学実習
公衆衛生看護学実習

保健師コース

公衆衛生看護学

公衆衛生看護活動論
公衆衛生看護管理論
公衆衛生看護方法
産業・学校保健論

助産師コース

助産学

基礎助産学
助産技術学
助産管理



先輩からのメッセージ



〈大井拓巳さん 山形県立鶴岡南高等学校〉

仲間と助け合いながら得る、充実した学生生活

3年次の前期には、より専門的な知識を学習していきます。後期は約3ヶ月間の臨地実習で、病院だけではなく地域の施設等でさまざまな看護技術を実践します。筆記試験、実技試験や実習で多忙な学年ですが、仲間とお互いに助け合って乗り越えています。コロナ禍ではありますが、十分に技術や知識を身につけることのできる環境を用意して下さっています。

多忙な学年とはいえ、学校以外では自由な時間を過ごすことができます。放課後にはアルバイトやサークル活動をして充実した日々を送っています。アルバイトで貯めたお金を使って、休日には買い物をしたり、ドライブに行ったりなど過ごし方は自由です。感染対策を行いながら、楽しく充実した生活を送ることができます！



佐藤和佳子教授 高齢者の疾病と障害など担当



松田友美教授 在宅看護方法など担当



古瀬みどり教授 成人急性期看護方法など担当

4年次

専門科目の修得 統合科目、統合実習による総まとめ 保健師・助産師コースの実習
 4年次では、在宅看護学実習や統合科目、統合実習により、学びの総まとめを行います。また卒業研究として、興味のあるテーマに取り組みながら、就職、進学、国家試験の勉強にも取り組みます。さらに、保健師コースと助産師コースでは実習を行い、専門的知識と技術の修得を目指します。

専門科目

在宅看護学

ケア・コーディネイト論

統合科目

看護研究
 看護管理学
 生命倫理
 看護教育学
 保健医療経済学
 統合特別講義

専門基礎科目

国際保健学

臨地実習

在宅看護学実習
 統合実習

保健師コース

公衆衛生看護学

公衆衛生看護方法
 公衆衛生看護学実習

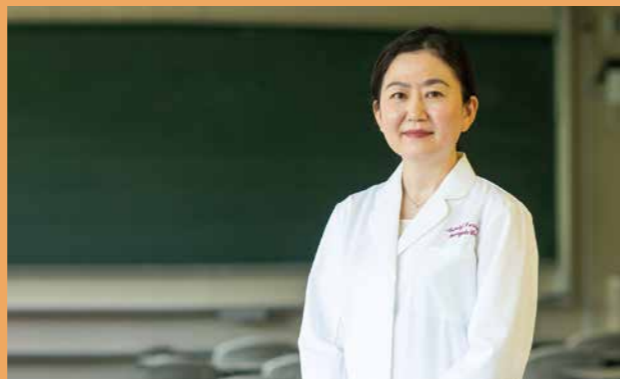
助産師コース

助産学

助産診断学
 助産技術学
 助産学実習



片岡ひとみ教授 看護管理学など担当



森鍵祐子教授 公衆衛生看護学概論など担当

4年生の1年間

4月 専門科目講義

5月 統合実習,
在宅看護学
実習

6月

保健師コース
公衆衛生
看護学実習

助産師コース
助産学実習

看護研究

7月

8月 夏季休業(コースにより期間が異なる)

9月

保健師コース
公衆衛生
看護学実習

助産師コース
助産学実習

10月 統合実習

11月 専門科目講義

12月 統合特別講義(統合特別試験)

1月 12月下旬~1月上旬 冬季休業

2月 国家試験

3月 学位記授与式

看護研究



先輩からのメッセージ



〈吉村桃果さん 山形県立山形東高等学校〉

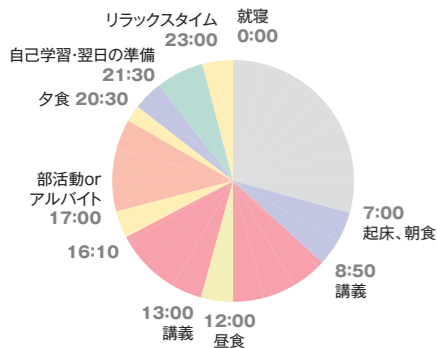
4年生の学校生活、 余暇の過ごし方

4年次は国家試験に向けての勉強の他、まとめの実習や助産師コース・保健師コースの実習、卒業研究、さらには就職試験など様々なことを並行して行います。私は助産師コースを選択し、秋ごろまで助産実習を行っていました。とても多忙な時期でしたが、そんな中でも実習を乗り切り、充実した大学生活を送ることができたのは、同じ目標に向かって切磋琢磨する仲間がいたこと、親身になってご指導して下さる各専門の先生方の存在があってこそだと思います。特に卒業研究では、自分が興味のある分野に出会ったことで、現在所属している大学院に進学するきっかけにもなりました。学習環境が整っているのはもちろん、部活動にも顔を出して気分転換をしたり、遊びに行ったりと、とても楽しく充実した日々を過ごすことができ、山形大学を選んでよかったと感じています。

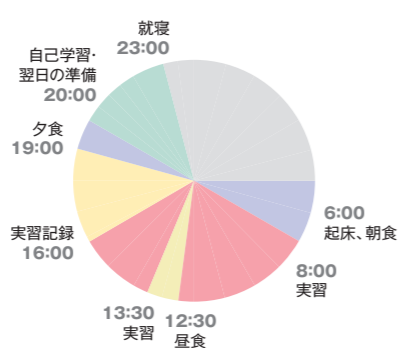
キャンパスライフ

気になるデータ 「1日のスケジュールは？」

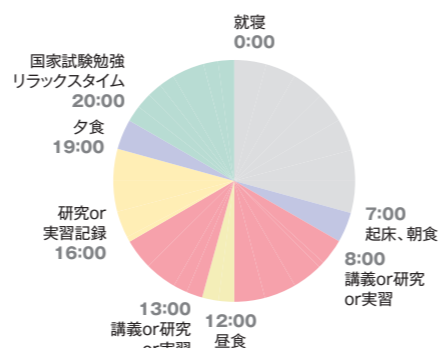
1・2年次生の
ある1日のスケジュール



3年次生の
ある1日のスケジュール



4年次生の
ある1日のスケジュール



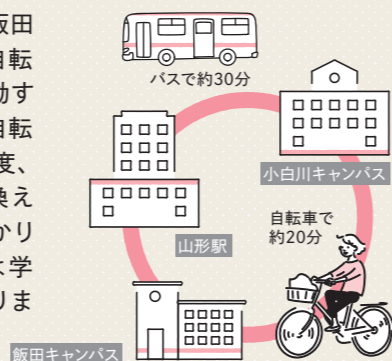
?先輩教えて

Q アパート等に住む場合は、小白川キャンパス周辺と飯田キャンパスどちらがよいですか？

A 1年生のうち、多くの講義が小白川キャンパスですが、1週間に1回から2回、飯田キャンパスでの講義があります。2年生からは、すべて飯田キャンパスでの講義になるため、1年生から飯田キャンパス周辺に居住する学生が多いです。

Q 小白川キャンパスと飯田キャンパスの間は、どうやって移動していますか？

A 小白川キャンパスと飯田キャンパスの間は、自転車やバスを使って移動する学生が多いです。自転車の場合は20分程度、バスの場合は乗り換えを含めて30分程度かかります。なお大学には学生用の駐車場はありません。



Please tell me!

気になるデータ 「1か月の生活費は？」

寮暮らしの1例

仕送り	¥0	1ヶ月の収入
アルバイト	¥50,000	
奨学金	¥51,000	
家賃	¥12,000	1ヶ月の支出
光熱費	¥10,000	
食費	¥20,000	
交際費	¥25,000	

一人暮らしの1例

アルバイト	¥30,000	1ヶ月の収入
仕送り	アルバイトで足りない生活費	
家賃	¥37,000	1ヶ月の支出
光熱費	¥12,000	
食費	¥30,000	
交際費	¥20,000	

専門性の高い講座

看護学科では「基礎看護学講座」「臨床看護学講座」「地域看護学講座」の3つの大講座を置き、専門性の高い経験豊かな教員が指導にあたっています。

基礎看護学講座



【基礎看護学】

基礎看護学では看護学の基本概念と看護に必要な基礎看護技術を学びます。具体的には「看護とは何か」を多角的に捉え看護を学ぶための基盤を育みます。また、看護に不可欠な援助技術として「日常生活援助技術」と「診療に伴う援助技術」の原理・原則について講義・演習・実習を通して学びます。

【基礎生命科学】

看護のプロフェッショナルとして、基礎生命科学、医学的知識は必須のものです。人体の構造と機能における正常と異常（疾病）について、環境と病原微生物について学習します。さらにそれらを統合させてどう対応するのかを専属の教員から系統的に学びます。また、講義や実習を通して一生涯続けられるリサーチマインドを育むことを目指します。

【看護管理学】

看護管理とは、質の高い看護活動を効率的、効果的、創造的に行うために必要な看護職に求められる能力です。そこで、看護管理学では、看護管理の基本、組織化、看護サービス管理、人材マネジメント、チーム医療、看護専門職、看護の質と評価、看護と経営、看護政策、感染管理、リスクマネジメントについて学びます。

臨床看護学講座



【高齢者看護学】

加齢による身体的・心理的・社会的変化や疾病への影響を理解し、高齢期にある人々の看護について学びます。具体的には、生理的・病的老化の理解、高齢期に多い疾患、認知症の看護、リハビリテーション期、生涯の最終段階にある高齢者の看護・チームケアについて学びます。

【成人看護学】

ライフサイクルの中で成人期は、最も幅広い年齢層で、社会に大きく影響を及ぼす時期です。そのような成人期にある人々の健康問題と看護について学びます。具体的には、疾病の予防、手術やその他の治療を受ける患者さんへの看護、またリハビリテーション期や終末期にある患者さんやそのご家族へのケアについて学びます。

【小児看護学】

基本的ニーズと基本的人権を否定された子どもたちに、将来、他の人々の人権を尊重し、思いやりのある、建設的な大人になることを望むことはできません。小児看護学では、変化する社会の中で成長・発達する子どもの特徴を知り、子どもの基本的人権を守り、発達や健康状態に合わせた子どもの看護について学びます。

【母性看護学】

子どもが健やかに生まれ育っていく基盤である妊娠・出産・育児に焦点を当て、その支援を学びます。また、女性の持っているセルフケア能力を引き出し、女性を中心としたケアについて学びます。さらに女性の各ライフステージにおける健康の諸問題、産婦人科の看護について学びます。

【精神看護学】

精神看護及び精神保健の概念、こころの仕組みと発達、疾病を抱える人への看護援助について学びます。主に、各年代における心理的不適応とその看護支援、がん患者や家族への精神看護支援、心理カウンセリングなどの心理療法、精神看護と他科の看護を統合させたリエゾン精神看護、など精神看護学に重要なテーマが中心です。



地域看護学講座



【公衆衛生看護学】

乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、疾病や障害がある人だけでなく健康な人も含めたすべての人々の健康と、Quality of Lifeの向上を支援する看護を学びます。市町村や保健所などの保健師が行う地域住民を対象とする地域保健、働く人々を対象とする産業保健、養護教諭が行う学校保健などの公衆衛生看護活動について学習します。

【在宅看護学】

住民や療養者とその家族が住み慣れた所で自分らしく最期まで過ごすための看護支援を学び、対象者の幅広い年齢や疾病に対応できるように判断力を深めます。在宅看護は病院の入退院支援部署や訪問看護ステーション、地域包括支援センターなどで、多職種と連携して行うため、各々の実習経験から支援を学習します。

活躍する卒業生



▶ 久下敦子さん 山形大学医学部附属病院看護師長
学部1期生

現在は、看護師長として看護管理を実践しています。看護師として働こうと決めたのは、学生時代に経験した実習がとても印象深かったからです。看護学科と附属病院が連携しており、充実した学習や実習ができる環境にあります。学生時代に学んだことや感じたことが、看護師としての私の原点になっています。



▶ 中山美言さん 山形大学医学部附属病院副看護師長
がん化学療法看護認定看護師 学部9期生
修士7期生

実習中担当した患者さんとの出会いからがん看護に興味をもちました。現在はがん化学療法看護認定看護師として、がん向き合う患者さんや御家族のためにできることを考え、寄り添えるように精一杯看護しています。在学中に先生方や仲間と共有した看護のやりがい、今でも自分を支えてくれています。



▶ 齋藤深雪さん 山形大学医学部看護学科准教授
学部1期生 修士1期生
博士(学術)

学部と前期課程を通して、看護職者に必要な知識や技術、専門性の高い研究や教育の重要性を学びました。在学中に学んだ多くの知識や経験は、現在の教育研究者の仕事に活かされています。様々な可能性を秘めた皆さんには、大学で学び、多くの夢を実現してほしいです。



▶ 長順子さん 東邦大学医療センター大森病院主任看護師
小児看護専門看護師
学部4期生 修士10期生

学部と大学院では、ベッドサイドに必要な知識や技術だけではなく、看護の専門性の探求、医療倫理、看護研究など様々なことを学びました。現在は、子どもへの看護実践、スタッフの相談、後輩教育、看護研究支援などを行っています。皆さんには、大学で学び、広い視野で活躍していただきたいと思っています。



▶ 小川育さん 高島町保健師
学部17期生

乳幼児から高齢者まで、幅広い世代の方の健康をサポートする仕事をしています。対象者に寄り添う姿勢と、アセスメントの大切さは大学で学びました。看護学科は実習が多いので、将来働くイメージが持ちやすいと思います。また医学部以外の学部との交流もあり、多くの出会いが自分を成長させてくれると思います。



▶ 新宮里美さん 川崎市立古市場小学校養護教諭
学部17期生

子どもの事を一番に考え、職員や保護者、その他関係機関と連携をとっています。寄り添う心を大切に姿勢や、些細な事でも連絡を取り合うスキルは看護学科で学ぶことができました。山形大学は横の繋がりはもちろん、縦の繋がりが強いので、勉強やサークルなど充実した日々を送ることができると思います。

最高の景色をもとめて 歩き続ける

せっかく大学生になったのならおもしろい趣味にのめりこみませんか?
一生続けられるスポーツ、登山。山に囲まれた山形は最高の場所です!



ワンダーフォーゲル部

■活動：土、日どちらか、または両日
■主な行事：4～11月までの無雪期に日帰りor泊まり
12～3月はスキー、スノボ、個人で冬期登山も



Club&Circle サークル活動に夢中!



硬式テニス部



ソフトテニス部



準硬式野球部



剣道部



フットサル部



ハンドボール部



ソフトボール部



合気道部



室内合奏団



聖書研究会



Sound Room (軽音学部)



同窓会新聞部

何かに夢中になれる時間は、学生生活を
より楽しく充実したものにしてくれるはず!



バレーボール部



卓球部



バスケットボール部



サッカー部



映画部



DoD (ダンス部)



YMSA (Yamagata Medical Student Association)



少林寺拳法部



空手道部



水泳部



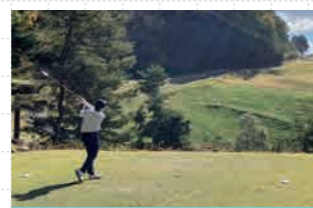
ラグビー部



陸上競技部



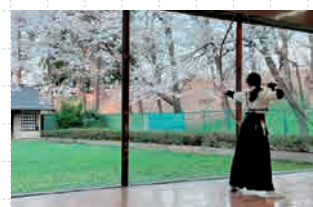
柔道部



ゴルフ部



ヨット部



弓道部



バドミントン部



競技スキー部



■練習：週2日
■主な行事、大会：11月にある職場団体対抗戦

「知のスポーツ」にトライ!

将棋部

週2日、将棋を指しています。将棋を極めたい人も、たまに指す程度の人も過ごしやすい環境です。
初心者への指導は勿論、詰将棋などの解き合いを行って、将棋を楽しんでいます!
初心者の方から有段者まで、今日の将棋ブームにのってみませんか?



入学試験情報

令和5年度 募集人員				
推薦入試	前期日程	後期日程	合計	第3年次編入学
20人	35人	5人	60人	5人

看護学科に関する入試状況 (令和4年5月1日現在)												
試験日程	志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
推薦入試	4	56	60	4	55	59	0	24	24	0	24	24
前期日程	4	73	77	4	47	51	3	32	35	3	28	31
後期日程	11	75	86	3	16	19	2	4	6	2	3	5
計	19	204	223	11	118	129	5	60	65	5	55	60

看護学科学生の出身高校

●北海道
札幌月寒/札幌北陵/札幌旭丘/函館中部/室蘭栄/室蘭清水丘/鹿追/釧路湖陵/札幌国際情報/札幌手稲/北見北斗/苫小牧東/函館/千歳/札幌藻岩/札幌南/旭川北/岩見沢東/札幌白石/札幌日本大学/札幌東

●秋田県
湯沢/秋田北/秋田/秋田南/大館鳳鳴/花輪/能代/本荘/由利/横手/湯沢北/十和田/秋田北鷹/大曲/横手清陵学院/秋田中央/湯沢翔北/大館国際情報学院/横手

●山形県
山形東/山形南/山形西/山形北/山形工業/山形中央/寒河江/東桜学館/羽黒/山本学園/南陽/新庄北/米沢興譲館/米沢東/長井/鶴岡南/酒田東/鶴岡中央/上山明新館/天童/日本大学山形/酒田南/山形城北/鶴岡北/高島/東海大学山形/酒田西/米沢中央

●新潟県
村上/新潟明訓/新潟/新潟南/新発田/六日町/高田/新発田南/新潟江南/新津/三条/佐渡/新潟中央/国際情報/長岡

●富山県
富山第一/呉羽

●群馬県
太田女子/前橋女子/樹徳/高崎女子/前橋(県立)

●福井県
鯖江

●滋賀県
河瀬

●愛知県
岡崎北

●京都府
京都橋

●大阪府
和泉

●島根県
大田

●神奈川県
川名/西湘

●山梨県
甲陵

●静岡県
静岡東/藤枝東/富士東

●長野県
野沢北/須坂/屋代/長野日本大学

●岐阜県
斐太

●青森県
青森/弘前/八戸北/三本木/青森南/八戸/弘前南/青森東/大湊/八戸東/弘前中央

●岩手県
盛岡第一/盛岡第三/盛岡第四/花巻北/黒沢尻北/盛岡北/水沢/一関第一/大船渡/釜石/宮古/種市/不来方/盛岡第二/高田/遠野/久慈/一関学院/盛岡白百合学園/盛岡中央/軽米

●宮城県
仙台向山/佐沼/気仙沼/泉/宮城第一/仙台二華/石巻好文館/石巻女子/泉館山/仙台東/宮城野/宮城学院/仙台育英学園/仙台白百合学園/聖和学園/東北工業大学/古川学園/白石女子/秀光/古川/古川黎明/仙台/白石/登米/仙台第三/石巻/東北学院榴ヶ岡/仙台第二/多賀城/仙台南/富谷/仙台三桜/仙台青陵/聖ウルスラ学院英智/東北学院/尚綱学院/仙台第一/東北/常盤学園

●福島県
福島(県立)/橘/福島西/安積黎明/郡山東/会津/葵/磐城/磐城桜が丘/双葉/郡山/福島東/桜の聖母学院/日本大学東北/安積/白河旭/相馬/福島成蹊

●栃木県
宇都宮南/宇都宮中央女子/石橋/真岡女子/大田原女子/矢板東/栃木南/宇都宮女子/黒磯/栃木翔南/小山/作新学院/足利女子/宇都宮/宇都宮北/宇都宮東/鹿沼/大田原女子/栃木女子

●茨城県
日立第一/水戸第三/緑岡/竜ヶ崎第一/日立北/竹園/清真学園/水戸第二/水戸葵陵/下館第一/下妻第一/茨城/太田第一/水戸第一/牛久米進/茗溪学園

●埼玉県
蕨/熊谷西/星野/春日部共栄/熊谷女子/伊奈学園総合/開智/埼玉栄/大宮

●千葉県
若松/千葉女子/市川東/千葉日本大学第一/東京学館/長生

●東京都
吉祥女子/両国/大妻中野/富士/自由学園高等科/国立/東京電機大学/墨田川/鷗友学園女子

インフォメーション

学生寮について

遠方から入学してくる学生のために山形市内に3つの学生寮があります。入寮の願い出の方法など詳細は合格通知の際にお知らせします。

寮名	定員	居室形態	寄宿料/1ヶ月
清明寮	男子 213名 女子 87名	個室	18,000円
北辰寮	男子 80名	個室	4,300円
紫苑寮	女子 80名	個室	12,000円

※上記のほか、各寮の規則及び負担区分に関する基準により光熱水料を負担することになります。



初年度納付金

山形大学独自の学費負担を軽減するシステム

●入学金(予定額) 282,000円

●授業料(予定額) 535,800円

【授業料支払い方法】

4つから選択することが可能です。

- 1 年1回払い
- 2 年2回払い
- 3 年10回均等払い
- 4 年10回ボーナス併用払い

●その他の諸経費(初年度のみ) 99,070円

※1 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※2 入学金免除・授業料免除制度
経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる学生は、願い出により選考の上、入学金・授業料の全額または半額を免除する制度があります。

保険

本学部では、学生が安心して学生生活を送ることができるよう、正課を受けている間、大学行事に参加している間、課外活動を行っている間または通学中・施設間移動中における不慮の災害事故を補償する「学生教育研究災害傷害保険」のほか、教育研究活動中に他人にケガを負わせたり、他人の物を壊すなどしたことにより発生した損害賠償責任を補償する「学研災付帯賠償責任保険」にも加入いただいております。

また、さらに看護学実習中の感染事故、針刺し事故等をも補償対象とする「日本看護学校協議会共済制度(Will)」にも加入いただいております。

奨学金

本学部で取り扱っている奨学金は、日本学生支援機構、地方公共団体、民間奨学団体、各病院のものがあります。これらの奨学金においては、いずれも学業・人物ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により学資の支弁が困難であると認められる者が対象になっています。

また、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯で意欲がある学生に対して、返還が不要な給付型の奨学金があります。別途、大学に申請を行うことで、授業料等の免除も同様に受けることができます。

【日本学生支援機構奨学金 2022年度の場合】

貸与型(種類)		貸与月額(希望額を選択)
第一種奨学金(無利子)	自宅通学者	20,000円、30,000円、45,000円
	自宅外通学者	20,000円、30,000円、40,000円、51,000円
第二種奨学金(有利子)	20,000円~120,000円までの1万円単位で選択	

給付型(種類)	給付月額	
	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円

※カッコ内は生活保護世帯等の金額

【山形大学山澤進奨学金】

平成19年度から開始された山形大学独自の奨学金で、医学部で1名年額60万円が返還不要で看護学科は4年間支給されます。さらに、同奨学金に採用された方は、入学金と支給期間の授業料が全額免除になります。

採用条件は、先に述べたことに加え、卒業後山形県内で4年間働くことを確約していただける方となります。詳しくは山形大学のホームページでご確認ください。

学生相談室

キャンパス内に学生相談室を配置し、カウンセラー(臨床心理士)が学生のみなさんのどんな悩み・心配事についても相談を受け、学生生活をサポートしています。毎年、多くの学生が学生相談室を活用しています。

福利厚生施設

学生・教職員のための福利厚生施設として、医学部会館に食堂・売店・理髪店等が設置されているほか、附属病院内にコンビニエンスストア・コーヒーション・カフェテリアや郵便局・ATM等が設置されています。

また、24時間保育所が国立大学医学部の中で、全国に先駆けてオープンし、平成29年からは病児保育室も整備されており、女性の教職員がより一層働きやすくなりました。



山形大学 医学部 看護学科
<https://yume-n.jp/>



山形大学 医学部 学務課（入試担当）
〒990-9585 山形市飯田西 2-2-2

TEL 023-628-5049 FAX 023-628-5058 E-mail yu-igagakuso@jm.kj.yamagata-u.ac.jp